#### 研究成果報告書 科学研究費助成事業



今和 2 年 7 月 1 0 日現在

機関番号: 12501

研究種目: 基盤研究(B)(一般)

研究期間: 2017~2019

課題番号: 17H02079

研究課題名(和文)軟骨伝導の基盤技術の確立と伝音性難聴の補聴機器の開発

研究課題名(英文)Development of fundamental technologies and applications of the cartilage conduct i on

### 研究代表者

中川 誠司 (Nakagawa, Seiji)

千葉大学・フロンティア医工学センター・教授

研究者番号:70357614

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 13,600,000円

研究成果の概要(和文):申請者らは,従来の骨伝導が持つ振動子装用に係る問題を解決した"軟骨伝導"を提案し,補聴器等への応用を図ってきた.しかしながら,軟骨伝導の知覚特性や末梢伝搬メカニズムには不明な点が残る.また,出力校正手法のような基盤情報・基盤技術が確立されていないため,効率的な開発が行えないという問題点があった.本提案課題では,軟骨伝導現象の全貌の解明および出力校正方法の開発を目指して,様々な刺激呈示条件に応じた軟骨伝導知覚の諸特性や末梢伝搬過程の解明に取り組んだ.また,得られた知見に基づき,伝音性難聴の補聴性能や対騒音特性を持った軟骨伝導スマートフォンの開発,および軟骨伝導の出力校正方 式の素案の提案を行った.

研究成果の学術的意義や社会的意義 軟骨伝導デバイスは外耳道閉鎖症の補聴や,騒音下での聴取に良好な性能を示しているが,軟骨伝導の知覚・伝搬メカニズムには不明な点が残されていた.また,出力校正手法のような基盤情報・基盤技術が確立されておらず,効率的な開発が行えない原因となっていた.本提案課題で明らかにした軟骨伝導知覚の諸特性や末梢伝搬過程は,軟骨伝導機器群の開発に理論的基盤を与え,その効率化に大きく寄与するものと思われる.

研究成果の概要 (英文): Bone-conduction (BC), presenting sounds by attaching a vibrator to the skull, has been applied to devices such as hearing aids and headphones, but problems such as cause of pain and difficulty of securing the vibrator remain. Therefore, as a solution, cartilage conduction (CC), attaching the vibrator to the auricular cartilage, has been proposed and applied to hearing aids. Despite of its practical use, CC has limited number of studies and the effects from nonlinearity and deformation of cartilage tissues are unclear, and fundamental techniques such as a calibration method have not been established. In this study, characteristics of perception and sound propagation of CC were evaluated using psychological, neurophysiological and physioacoustical measurements in humans. Further, on the basis of the results of perception and propagation mechanisms, a CC smartphone and a calibration phantom for CC were developed.

研究分野: 生体医工学, 聴覚科学

キーワード: 骨伝導 軟骨 知覚特性 伝搬メカニズム 出力校正機器 スマートホン

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。

# 1. 研究開始当初の背景

骨伝導音はその一部が外耳・中耳を介すことなく内耳に到達する. そのため,以前から外耳・中耳の障害に起因する伝音性難聴の補聴手段として用いられてきた. しかしながら,乳様突起に振動子を押しつけて呈示する従来の骨伝導(図1左)には,痛みが生じる,振動子がずれやすいという欠点があった. また,頭部への押し付けにはバンド等を利用する必要があるが,それらはデザイン的にも改良の余地が大きく,骨伝導補聴器が敬遠される要因となっていた.

対して、このような骨伝導が持つ問題を解決する手段として"軟骨伝導"を提案され(阪口ら 2008)、補聴器(Nishimura et al. 2013) やスマートホン (Nakagawa et al. 2013) 等への応用が図られてきた. 軟骨伝導では、耳介等の外耳を構成する軟骨部に振動子を呈示する. 軟骨部は骨部に比べて軟らかく、弾性を持つために痛みを生じにくい. また、振動子を耳甲介(図 1 右)に嵌め込むことで、ヘッドバンドを利用する必要もなくなる.

一方,軟骨伝導では,外耳道や鼓膜を経由する経路や,生体組織から中耳や内耳に直接作用する経路など,複数の経路で音が内耳に到達する.また,耳介軟骨は非線形性が高く,押付によって容易に変形する.加えて,聴覚末梢は軟骨組織と骨組織が混在する複雑な形状を有しており,振動子の呈示位置や呈示方法によって,音の伝搬経路や結果として得られる知覚特性に変化が生じる可能性がある.しかしながら,軟骨伝導研究の歴史は浅く,先行報告も限定的である.そのため,聴覚末梢における骨伝導音の伝搬過程や知覚特性の詳細には不明な点が多く残されている.また,また,出力校正手法のような





図 1 左:一般的な骨伝導音の呈示. ヘッドバンド等を用いて**乳様突起**(耳の後ろに位置する側頭骨の凸部)に振動子を押しつける必要がある.

右:軟骨伝導音の呈示例. 先端がリング 状になった振動子を耳甲介 (耳介中の 外耳孔前の陥凹部)に嵌め込む. バンド などの固定具は使用しない.



乳様突起 胸鎖乳突筋

図 2 軟骨伝導の呈示部位の例. それぞれの部位や, 軟骨部と骨部に同時に呈示した場合の, 各骨伝導成分(図 1)の大きさを検証した.

基盤情報・基盤技術もほとんど確立されておらず、軟骨伝導デバイスの効率的な開発が行えない原因となっていた.

## 2. 研究の目的

本研究では、様々な刺激呈示条件に応じた軟骨伝導の基礎知覚特性や音声知覚特性、および末梢 伝搬過程の解明に取り組んだ。気導音や従来の骨伝導音との比較から、軟骨伝導の伝搬特性とその 結果として得られる知覚特性の推定を行い、ヒトにおける軟骨伝導現象の全体像の推定を試みた。また、知覚メカニズム、伝搬メカニズム研究で得られた知見に基づき、軟骨伝導の出力校正方式の提案、および軟骨伝導を用いたスマートホンの開発を行った。

# 3. 研究の方法

以下のような課題に取り組んだ.

1) 様々な音呈示条件における軟骨伝導音の末梢伝搬特性の推定

申請者がこれまでに取り組んで来た骨伝導知覚研究において確立した方法を用いて,外耳道内の音場計測や鼓膜および頭部の振動計測を行う.振動子の呈示条件を変化させて,大きな慣性骨導・圧縮骨導成分が得られる条件を探索的に推定する.

- 2) 様々な音呈示条件における軟骨伝導音の知覚特性計測
  - 1) と同様に振動子の呈示条件を変化させながら, 軟骨伝導の基礎知覚特性や音声知覚特性, 音質, 神経生理反応を調べた.

3) 耳介のサイズ・形状が末梢伝搬特性 と知覚特性に及ぼす影響の評価

耳介のサイズ, 形状を示す各パラメータと, 聞こえおよび伝搬成分の関係を調べ, そのメカニズムを推定する.

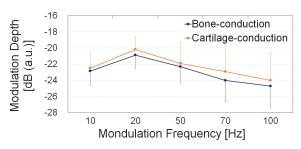
4) 出力校正機器,および軟骨伝導デバイスの開発

上述のように,外耳道や鼓膜を経由する経路や,生体組織から中耳や 内耳に直接作用する経路など,複数 の経路で音が内耳に到達する.これ らの成分を同時に計測し,それぞれ の伝搬経路を通過する際に生じる周 波数特性の変化を推定し,各経路成 分の総和としての軟骨伝導知覚の評 価が可能な校正機器を提案した.ま た,最適化された軟骨伝導デバイ スを開発し,その性能を評価した.

# 4. 研究成果

1) 様々な音呈示条件における軟骨伝 導音の末梢伝搬特性の推定

耳介軟骨,従来の骨伝導で用いられてきた呈示部位である乳様突起,および最近の骨伝導ヘッドホンでよく用いられる顆状突起,それそれに骨伝導呈示を行った際の外



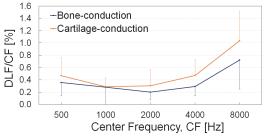


図 3 軟骨伝導と従来の骨伝導の時間分解能 (上), 周波数分解能(下)の比較.



図4 軟骨伝導スマートホンおよび評価実験の様子.

耳道内音圧, 頭蓋振動等を測定し, それぞれの呈示部位において生じる経路成分を推定した. 外耳道経由の成分は軟骨伝導> 顆状突起, 乳様突起の順番で大きくなること, および頭蓋振動成分はその逆になることを示した. また, 軟骨伝導では耳栓効果(外耳孔が閉鎖されることによる低周波成分の増強)が強く生じることが示された.

また,耳介軟骨の上部,中部,下部に振動子を呈示した場合の各経路成分と耳介変形量を推定し,耳介内での呈示部位の変化によっても,有意な伝搬成分の変化が生じることを明らかにした.

2) 様々な音呈示条件における軟骨伝導音の知覚特性計測

耳介軟骨,従来の骨伝導で用いられてきた呈示部位である乳様突起,および最近の骨伝導へッドホンでよく用いられる顆状突起,それそれに骨伝導呈示を行った際の周波数分解能,時間分解能,および音声知覚特性を心理計測および脳磁界計測によって詳細に調べた.その結果,聴覚健常者における軟骨伝導の時間分解能,周波数分解能は実用的なレベルであるものの,高周波でやや劣化することが明らかになった(図 3).

3) 耳介のサイズ・形状が末梢伝搬特性と知覚特性に及ぼす影響の評価

耳栓をした場合,しない場合にかかわらず,耳介サイズを示す各パラメータと閾値特性の間の有意な相関が見いだされた.一方,耳栓がある条件においてのみ,形状を示すパラメータと聞こえの間の相関が認められた.

4) 出力校正機器,および軟骨伝導デバイスの開発

メーカーと共同で軟骨伝導スマートホンを開発した.また,生じる各経路成分,聞こえと呈示条件の関係を詳細に調べることで,呈示条件の最適化を行った.また,出力校正機器を構築し,IEC(国際電気標準会議)で提案を行った.

# 5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計163件(うち査読付論文 76件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 12件)

1 . 著者名 Otsuka S, Furukawa S, Nakagawa S	4 . 巻 -
2.論文標題 Temporal Expectation Modulates Medial Olivocochlear Bundle Reflex	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Abstracts of the Association for Research in Otolaryngology 43rd Annual MidWinter Meeting	6 . 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Nakagawa S, Hotehama T	4 . 巻 -
2.論文標題 Psychoacoustical assessment of thermal impression of HVAC sound	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Abstracts of the Association for Research in Otolaryngology 43rd Annual MidWinter Meeting	6 . 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名	4 . 巻
Nakagawa S, Ishikawa H, Ogino R, Doi K, Otsuka S	-
2. 論文標題 Assessments of propagation of bone-conducted ultrasound presented to the arm using laserDoppler vibrometry	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Proceeding of the 40th Symposium on Ultrasonic Electronics (USE2019)	6 . 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセス	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	国際共著
オープンアクセス	有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Otsuka S, Nakagawa S, Fuukawa S  2 . 論文標題 Effect of Temporal Expectation on Medial Olivocochlear Bundle Reflex  3 . 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in	有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁

1.著者名 Nakagawa S	
Nakagawa S	4 . 巻
•	=
2.論文標題	5.発行年
Developments of Welfare Devices using Bone-conduction Based on Elucidation of Perception	2019年
Mechanisms	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in	56-57
BioMedical and Healthcare Application (IS 3T-in-3A)	
browned and hearthear Approacher (10 or 111 or)	
	****
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	***
オープンアクセス	国際共著
	国际共有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
	* · · · · · · ·
Otsuka S, Nakagawa S, Furukawa	-
2 . 論文標題	5.発行年
Effects of a preceding sound on medial olivocohlear bundle reflex as a function of the	2019年
preceding time interval	
	6 単加し単独の西
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustic	6626-6629
	本註の左便
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.18154/RWTH-CONV-239817	有
	1
+ 1,74,7	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	
1 菜老夕	<b>Δ</b> 类
1 . 著者名	4.巻
Nakagawa S, Hotehama T, Kamiya M	-
•	
2 . 論文標題	5.発行年
Psychoacoustical assessment of thermal impression of automotive HVAC noise	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustic	6781-6786
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustic	6781-6786
Proceedings of the 23rd International Congress on Acoustic	6781-6786
- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	6781-6786 査読の有無
   	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239405	査読の有無 有
<b></b>	査読の有無
<b></b> 引動論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239405 オープンアクセス	査読の有無 有
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239405	査読の有無 有
<b></b> <b>園載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)</b> 10.18154/RWTH-CONV-239405 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無 有 国際共著
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)   10.18154/RWTH-CONV-239405   オープンアクセス   オープンアクセスとしている(また、その予定である)   1.著者名	査読の有無 有
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239405 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無 有 国際共著
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239405 オープンアクセス	査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239405 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Nakagawa S, Doi K, Ogino R, Otsuka S	直読の有無 有 国際共著 - 4.巻 58
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239405 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Nakagawa S, Doi K, Ogino R, Otsuka S  2 . 論文標題	査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239405 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Nakagawa S, Doi K, Ogino R, Otsuka S 2 . 論文標題	直読の有無 有 国際共著 - 4.巻 58
引載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239405 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Nakagawa S, Doi K, Ogino R, Otsuka S  2.論文標題 Propagation characteristics of amplitude-modulated bone-conducted ultrasounds distantly	査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 58
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239405 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Nakagawa S, Doi K, Ogino R, Otsuka S  2.論文標題 Propagation characteristics of amplitude-modulated bone-conducted ultrasounds distantly presented to the neck, trunk and arms	直読の有無 有 国際共著 - 4.巻 58 5.発行年 2019年
歌論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239405 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Nakagawa S, Doi K, Ogino R, Otsuka S  2.論文標題 Propagation characteristics of amplitude-modulated bone-conducted ultrasounds distantly presented to the neck, trunk and arms 3.雑誌名	査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 58
引載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239405 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Nakagawa S, Doi K, Ogino R, Otsuka S  2. 論文標題 Propagation characteristics of amplitude-modulated bone-conducted ultrasounds distantly presented to the neck, trunk and arms 3. 雑誌名	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 58 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239405 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Nakagawa S, Doi K, Ogino R, Otsuka S  2 . 論文標題 Propagation characteristics of amplitude-modulated bone-conducted ultrasounds distantly presented to the neck, trunk and arms	直読の有無 有 国際共著 - 4.巻 58 5.発行年 2019年
歌論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239405 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Nakagawa S, Doi K, Ogino R, Otsuka S  2.論文標題 Propagation characteristics of amplitude-modulated bone-conducted ultrasounds distantly presented to the neck, trunk and arms 3.雑誌名	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 58 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239405 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Nakagawa S, Doi K, Ogino R, Otsuka S  2 . 論文標題 Propagation characteristics of amplitude-modulated bone-conducted ultrasounds distantly presented to the neck, trunk and arms 3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 58 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 SGGE18:1-6
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239405 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Nakagawa S, Doi K, Ogino R, Otsuka S  2 . 論文標題 Propagation characteristics of amplitude-modulated bone-conducted ultrasounds distantly presented to the neck, trunk and arms 3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 58 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239405  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Nakagawa S, Doi K, Ogino R, Otsuka S  2 . 論文標題 Propagation characteristics of amplitude-modulated bone-conducted ultrasounds distantly presented to the neck, trunk and arms  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 58 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 SGGE18:1-6
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239405 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Nakagawa S, Doi K, Ogino R, Otsuka S  2 . 論文標題 Propagation characteristics of amplitude-modulated bone-conducted ultrasounds distantly presented to the neck, trunk and arms  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 58 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 SGGE18:1-6
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239405  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Nakagawa S, Doi K, Ogino R, Otsuka S  2.論文標題 Propagation characteristics of amplitude-modulated bone-conducted ultrasounds distantly presented to the neck, trunk and arms  3.雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 58 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 SGGE18:1-6
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239405  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Nakagawa S, Doi K, Ogino R, Otsuka S  2 . 論文標題 Propagation characteristics of amplitude-modulated bone-conducted ultrasounds distantly presented to the neck, trunk and arms  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 58 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 SGGE18:1-6

1.著者名	4 . 巻
Nakagawa Seiji	41
Nakayawa Serji	41
	į l
2.論文標題	5 . 発行年
Assessment of temporal resolution of bone-conducted ultrasonic hearing using neuromagnetic	2020年
measurements	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
1	l l
Acoustical Science and Technology	382 ~ 383
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
https://doi.org/10.1250/ast.41.382	有
11.1ps.//doi.org/10.1230/ast.41.302	[ F
オープンアクセス	国際共著
	-137.18
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1	4 . 巻
1.著者名	_
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto	146
0 40-2-137.07	= 7v./= b=
2 . 論文標題	5.発行年
Relationship between cochlear mechanics and speech-in-noise reception performance	2019年
Notationally between coefficial mediantes and speech-in-noise reception periormance	2010—
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
The Journal of the Acoustical Society of America	EL265 ~ EL271
日本は4人 - pp.1 / - *** - 1 - + *** - 1 - + *** - 1 - ***	****
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
https://doi.org/10.1121/1.5125008	有
	ا ت
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
オーノファフ にへ (はない、 又はオーノファフ に入げ 凶無	-
1 荃老名	<b>A</b>
1 . 著者名	4 . 巻
1 . 著者名 Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto	4.巻 41
	_
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto	41
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto 2 . 論文標題	5 . 発行年
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto 2 . 論文標題	5 . 発行年
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-	41
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance	5.発行年 2020年
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-	5 . 発行年
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3 . 雑誌名	41 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance	5.発行年 2020年
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3 . 雑誌名	41 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3 . 雑誌名	41 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3 . 雑誌名 Acoustical Science and Technology	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3 . 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	41 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3 . 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3 . 雑誌名 Acoustical Science and Technology	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3 . 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3 . 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3 . 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404  オープンアクセス	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3 . 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3 . 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404  オープンアクセス	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3 . 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無 有 国際共著
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3 . 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無 有 国際共著
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3 . 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無 有 国際共著
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3 . 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無 有 国際共著
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3 . 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Ogino Riki、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji	41 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407  査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 58
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3 . 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無 有 国際共著
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3 . 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Ogino Riki、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji  2 . 論文標題	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 58
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2.論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3.雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Ogino Riki、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji  2.論文標題 Measurements of vibration at the external auditory meatus and the upper limb in the living	41 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407  査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 58
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3 . 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Ogino Riki、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji  2 . 論文標題 Measurements of vibration at the external auditory meatus and the upper limb in the living human body caused by distantly presented bone-conducted ultrasound	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 58
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2.論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3.雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Ogino Riki、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji  2.論文標題 Measurements of vibration at the external auditory meatus and the upper limb in the living	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 58
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2. 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3. 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Ogino Riki、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji  2. 論文標題 Measurements of vibration at the external auditory meatus and the upper limb in the living human body caused by distantly presented bone-conducted ultrasound  3. 雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 58 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3 . 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Ogino Riki、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji  2 . 論文標題 Measurements of vibration at the external auditory meatus and the upper limb in the living human body caused by distantly presented bone-conducted ultrasound	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 58
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2. 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3. 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Ogino Riki、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji  2. 論文標題 Measurements of vibration at the external auditory meatus and the upper limb in the living human body caused by distantly presented bone-conducted ultrasound  3. 雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 58 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2. 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3. 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Ogino Riki、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji  2. 論文標題 Measurements of vibration at the external auditory meatus and the upper limb in the living human body caused by distantly presented bone-conducted ultrasound  3. 雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 58 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3 . 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Ogino Riki、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji  2 . 論文標題 Measurements of vibration at the external auditory meatus and the upper limb in the living human body caused by distantly presented bone-conducted ultrasound  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 58 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 SGGE12:1-8
2.論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance 3.雑誌名 Acoustical Science and Technology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Ogino Riki、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji  2.論文標題 Measurements of vibration at the external auditory meatus and the upper limb in the living human body caused by distantly presented bone-conducted ultrasound 3.雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 58 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
0 tsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3 . 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Ogino Riki、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji  2 . 論文標題 Measurements of vibration at the external auditory meatus and the upper limb in the living human body caused by distantly presented bone-conducted ultrasound  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 58 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 SGGE12:1-8
Otsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3 . 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Ogino Riki、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji  2 . 論文標題 Measurements of vibration at the external auditory meatus and the upper limb in the living human body caused by distantly presented bone-conducted ultrasound  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 58 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 SGGE12:1-8
2. 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance 3. 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Ogino Riki、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji  2. 論文標題 Measurements of vibration at the external auditory meatus and the upper limb in the living human body caused by distantly presented bone-conducted ultrasound 3. 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.7567/1347-4065/ab1fda	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 58 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 SGGE12:1-8
0 tsuka Sho、Nakagawa Seiji、Furukawa Shigeto  2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance  3 . 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Ogino Riki、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji  2 . 論文標題 Measurements of vibration at the external auditory meatus and the upper limb in the living human body caused by distantly presented bone-conducted ultrasound  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 58 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 SGGE12:1-8
2 . 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance 3 . 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Ogino Riki、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji  2 . 論文標題 Measurements of vibration at the external auditory meatus and the upper limb in the living human body caused by distantly presented bone-conducted ultrasound 3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.7567/1347-4065/ab1fda オープンアクセス	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 58 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 SGGE12:1-8
2. 論文標題 Relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance 3. 雑誌名 Acoustical Science and Technology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1250/ast.41.404  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Ogino Riki、Otsuka Sho、Nakagawa Seiji  2. 論文標題 Measurements of vibration at the external auditory meatus and the upper limb in the living human body caused by distantly presented bone-conducted ultrasound 3. 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.7567/1347-4065/ab1fda	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 404~407 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 58 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 SGGE12:1-8

1.著者名	4 . 巻
Qin Xiuyuan, Otsuka Sho, Nakagawa Seiji	41
The Arayaan, ordana one, hanagana oory	
0 AA-LEGE	= 7V./= <del> -</del>
2.論文標題	5.発行年
Estimation on the influence of placement on bone conduction transmission by ear-canal sound	2020年
pressure	
<u>'</u>	6 BW1846E
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Acoustical Science and Technology	384 ~ 385
3,000	
	* +
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
https://doi.org/10.1250/ast.41.384	有
.,,	
オープンアクセス	国際共著
	国际共有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	_
1. 著者名	4 . 巻
Onishi Akinari	388
	5.発行年
·····	
Landmark map: An extension of the self-organizing map for a user-intended nonlinear projection	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Neurocomputing	228 ~ 245
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
https://doi.org/10.1016/j.neucom.2019.12.125	有
オープンアクセス	国際共著
	日が八日
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
1.著者名	4 . 巻
1 . 著者名 Doi K, Otsuka S, Nakagawa S	4 . 巻
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S	-
	-
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題	5 . 発行年
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S 2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human	5 . 発行年
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm	5.発行年 2020年
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human	5 . 発行年
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名	5.発行年 2020年
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm	5.発行年 2020年
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名	5.発行年 2020年
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	- 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 -
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名	5.発行年 2020年
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	- 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 -
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	- 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセス	- 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	- 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセス	
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa	- 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題	
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題	
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2.論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3.雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa  2.論文標題 Evaluation of frequency resolution characteristic of cartilage-conduction hearing using	
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 Evaluation of frequency resolution characteristic of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological asurement	- 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 Evaluation of frequency resolution characteristic of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological asurement  3 . 雑誌名	- 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 Evaluation of frequency resolution characteristic of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological asurement	- 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 Evaluation of frequency resolution characteristic of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological asurement  3 . 雑誌名	- 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 Evaluation of frequency resolution characteristic of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological asurement  3 . 雑誌名	- 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 Evaluation of frequency resolution characteristic of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological asurement  3 . 雑誌名 Proceedings of the23rd International Congress on Acoustics	- S . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 6668-6669
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 Evaluation of frequency resolution characteristic of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological asurement  3 . 雑誌名	- 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 Evaluation of frequency resolution characteristic of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological asurement 3 . 雑誌名 Proceedings of the23rd International Congress on Acoustics	- 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 -
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 Evaluation of frequency resolution characteristic of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological asurement  3 . 雑誌名 Proceedings of the23rd International Congress on Acoustics	- S . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 6668-6669
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 Evaluation of frequency resolution characteristic of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological asurement  3 . 雑誌名 Proceedings of the23rd International Congress on Acoustics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-238951	
Doi K, Otsuka S, Nakagawa S  2 . 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm  3 . 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 Evaluation of frequency resolution characteristic of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological asurement  3 . 雑誌名 Proceedings of the23rd International Congress on Acoustics  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10 .18154/RWTH-CONV-238951  オープンアクセス	- 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 -
2. 論文標題 Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human Body Presented to the Neck, Trunk and Arm 3. 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa  2. 論文標題 Evaluation of frequency resolution characteristic of cartilage-conduction hearing using physiological and psychological asurement 3. 雑誌名 Proceedings of the23rd International Congress on Acoustics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-238951	

1 . 著者名	4 . 巻
Jitsukawa T, Otsuka S, Nakagawa S	-
2.論文標題 Effects of cartilage conduction vibrator placement in the pinna on the detection threshold and the ear canal sound pressure	5.発行年 2019年
3.雑誌名 Proceedings of the23rd International Congress on Acoustics	6.最初と最後の頁 6595-6597
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239619	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 英名	
1 . 著者名 Ogino R, Otsuka S, Nakagawa S	4.巻   <u>-</u>
2 . 論文標題 Evaluation of Propagation Characteristics of Bone-conducted Ultrasound Presented to the Neck, Trunk and Arm	5.発行年 2019年
3.雑誌名 Proceedings of the23rd International Congress on Acoustics	6.最初と最後の頁 6613-6615
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239509	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
. ###	I
1 . 著者名 Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	4.巻   -
2. 論文標題 Demodulation Characteristics in Propagation Process of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound Presented to the Neck, Trunk and Arms	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Proceedings of the23rd International Congress on Acoustics	6.最初と最後の頁 6604-6606
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239572	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	4.巻
2 . 論文標題 Influence caused by placement of a bone- conducted vibrator on sound transmission.	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Proceedings of the23rd International Congress on Acoustics	6.最初と最後の頁 6519-6522
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-238952	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著

1.著者名 Suzuki Y, Otsuka S, Nakagawa S	4.巻
2 . 論文標題 Correlative changes of medial olivocochlear reflex and electroencephalographic activity during sleep	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Proceedings of the23rd International Congress on Acoustics	6.最初と最後の頁 6616-6618
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18154/RWTH-CONV-239867	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1	4.巻
1.著者名 石坂勇毅,大塚翔,中川誠司	4 . 중 - -
2 . 論文標題 先行する音列の規則性がオリーブ蝸牛束反射に与える影響	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集	6.最初と最後の頁 59
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名	4 . 巻
5.看有有 鈴木拓海,大塚翔,中川誠司	4 · 중   - 
2.論文標題 HVAC音の時間ゆらぎが聴感印象および知的生産性に及ぼす影響	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集	6.最初と最後の頁 120
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 齊藤慎之介,大塚翔,前佛聡樹,堀創史,本多通孝,中川誠司	4 . 巻
2 . 論文標題 腹部聴診音と腸蠕動の相関の検証	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集	6.最初と最後の頁721-722
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名	4.巻
7.有百百 石川大夢,大塚翔,中川誠司	
2.論文標題	5.発行年
両側に遠位呈示された骨導超音波の時間差による頭内定位の検討	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3 · #世紀日 日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集	627-628
口平日音子云2019年似字训九光仪云碑/庆晴又朱	027-028
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	T
1 . 著者名	4.巻
菅原優聖,中川誠司,大塚翔 	-
2.論文標題	5 . 発行年
************************************	2019年
	•
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	┃ 4.巻
信夫大志,大塚翔,中川誠司	-
HAVOVO- / X CAPAS / 1 PHAM. 3	
2.論文標題	5.発行年
耳栓装用時の骨伝導音知覚/伝搬特性に及ぼす刺激呈示部位の効果	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2019年秋季研究発表会講演論文集	0.取例と取扱の負
口本自言于公2010年10年10万亿元农公路/农师人来	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<u> </u>
1 . 著者名	4 . 巻
Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Junghun Noh, Seiji Nakagawa	-
2.論文標題	5 . 発行年
Frequency characteristics of threshold of cartilage-conduction by using a cellphone panel with	
a PZT-based vibrator.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
The Proc. of ASJ 2019 Autumn Meeting	-
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	   査読の有無   無
なし	   査読の有無   無

1.著者名	4 . 巻
	49
石坂勇毅,大塚翔,中川誠司	40
2 . 論文標題	5 . 発行年
先行する音の数とその規則性がオリーブ蝸牛束反射に与える影響	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会聴覚研究会資料	535-538
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
· · · · · = · ·	日於八百
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
	_
ヤップ ゲック シエン,大塚 翔,中川誠司	49
2 . 論文標題	c ※/
	5 . 発行年
軟骨伝導および骨伝導の基礎知覚特性の比較:検出閾,時間分解能,および周波数分解能	2019年
그 사람 것	6 見知に自然の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会聴覚研究会資料	523-528
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	777
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
3 ファットコンにはない 人は3 ファックに入り四年	L
# 1. 5	
1.著者名	4.巻
荻野利基,土井公一朗,大塚翔,中川誠司	-
2002) 113E) - E/I A - WI) 7070/29 T7/1189/EI	
2.論文標題	5.発行年
遠位呈示された骨導音の知覚特性および伝搬特性の解明 - 超音波域と可聴周波数域の比較 -	2019年
送世主から102月等日の州見行はOSO(A)M行はO所的 - 超日/放場とり転り/放場の比較 -	20194
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会聴覚研究会資料	_
ᆸᅲᆸᇀᆂᇫᆒᅹᄝᄢᆝᇪᄍᆽᄳᆟ	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
	<b>中</b> M八日
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 菜老夕	1
1 . 著者名	4 . 巻
1.著者名 土井 公一朗,荻野 利基,大塚 翔, 中川 誠司	4.巻 49
	_
土井 公一朗,荻野 利基,大塚 翔, 中川 誠司	49
土井 公一朗, 荻野 利基, 大塚 翔, 中川 誠司 2.論文標題	5 . 発行年
土井 公一朗,荻野 利基,大塚 翔, 中川 誠司	49
土井 公一朗, 荻野 利基, 大塚 翔, 中川 誠司 2.論文標題	5 . 発行年
土井 公一朗,荻野 利基,大塚 翔, 中川 誠司2.論文標題遠位呈示したAM骨導超音波の音質改善の試み - 体内伝搬過程における自己復調特性の検討 -	49 5.発行年 2019年
土井 公一朗, 荻野 利基, 大塚 翔, 中川 誠司  2. 論文標題 遠位呈示したAM骨導超音波の音質改善の試み - 体内伝搬過程における自己復調特性の検討 -  3. 雑誌名	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
土井 公一朗, 荻野 利基, 大塚 翔, 中川 誠司  2. 論文標題 遠位呈示したAM骨導超音波の音質改善の試み - 体内伝搬過程における自己復調特性の検討 -  3. 雑誌名	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
土井 公一朗, 荻野 利基, 大塚 翔, 中川 誠司2.論文標題遠位呈示したAM骨導超音波の音質改善の試み - 体内伝搬過程における自己復調特性の検討 -	49 5.発行年 2019年
土井 公一朗, 荻野 利基, 大塚 翔, 中川 誠司  2. 論文標題 遠位呈示したAM骨導超音波の音質改善の試み - 体内伝搬過程における自己復調特性の検討 -  3. 雑誌名	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
土井 公一朗,荻野 利基,大塚 翔,中川 誠司         2. 論文標題 遠位呈示したAM骨導超音波の音質改善の試み - 体内伝搬過程における自己復調特性の検討 -         3. 雑誌名 日本音響学会聴覚研究会資料	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 505-510
土井 公一朗,荻野 利基,大塚 翔,中川 誠司         2. 論文標題 遠位呈示したAM骨導超音波の音質改善の試み - 体内伝搬過程における自己復調特性の検討 -         3. 雑誌名 日本音響学会聴覚研究会資料	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
土井 公一朗, 荻野 利基, 大塚 翔, 中川 誠司2. 論文標題 遠位呈示したAM骨導超音波の音質改善の試み - 体内伝搬過程における自己復調特性の検討 -3. 雑誌名 日本音響学会聴覚研究会資料掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 505-510 査読の有無
土井 公一朗,荻野 利基,大塚 翔,中川 誠司         2. 論文標題 遠位呈示したAM骨導超音波の音質改善の試み - 体内伝搬過程における自己復調特性の検討 -         3. 雑誌名 日本音響学会聴覚研究会資料	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 505-510
土井 公一朗, 荻野 利基, 大塚 翔, 中川 誠司         2. 論文標題 遠位呈示したAM骨導超音波の音質改善の試み - 体内伝搬過程における自己復調特性の検討 -         3. 雑誌名 日本音響学会聴覚研究会資料         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし	49 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 505-510 査読の有無
土井 公一朗, 荻野 利基, 大塚 翔, 中川 誠司         2. 論文標題 遠位呈示したAM骨導超音波の音質改善の試み - 体内伝搬過程における自己復調特性の検討 -         3. 雑誌名 日本音響学会聴覚研究会資料         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 505-510 査読の有無 無
土井 公一朗, 荻野 利基, 大塚 翔, 中川 誠司  2. 論文標題 遠位呈示したAM骨導超音波の音質改善の試み-体内伝搬過程における自己復調特性の検討-  3. 雑誌名 日本音響学会聴覚研究会資料  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	49 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 505-510 査読の有無
土井 公一朗, 荻野 利基, 大塚 翔, 中川 誠司         2. 論文標題 遠位呈示したAM骨導超音波の音質改善の試み - 体内伝搬過程における自己復調特性の検討 -         3. 雑誌名 日本音響学会聴覚研究会資料         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	49 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 505-510 査読の有無

1.著者名	4 . 巻
高尾まりあ,大塚翔,中川誠二	49
Tarbox you yoursally 1 may =	
2 *	F 36/-/-
2.論文標題	5 . 発行年
複数話者存在下での聴取能力と言語性・視空間性ワーキングメモリ容 量との関係	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会聴覚研究会資料	539-544
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
άU	<b>無</b>
40	***
1	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	<u>.                                      </u>
1 . 著者名	4 . 巻
	_
信夫大志,大塚翔,中川誠司	-
	<u> </u>
2 . 論文標題	5.発行年
	2019年
耳栓装用時の骨伝導音知覚特性 -刺激呈示部位 , 周囲騒音レベル , および耳栓種類の効果-	20194
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会聴覚研究会資料	-
	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
· · · · · · =· ·	国际六省
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1. 著者名	4 . 巻
	_
1 . 著者名 Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	4 . 巻
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	-
	_
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa 2 . 論文標題	5 . 発行年
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and	-
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions	5.発行年 2019年
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2. 論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions  3. 雑誌名	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions	5.発行年 2019年
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2.論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions  3.雑誌名	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2.論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions  3.雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2.論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions  3.雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 80
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2. 論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions  3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 80 査読の有無
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2.論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions  3.雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 80
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2. 論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions  3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 80 査読の有無
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2. 論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions  3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 80 査読の有無 無
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2. 論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions  3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 80 査読の有無
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2. 論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions  3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 80 査読の有無 無
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2. 論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions  3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 80 査読の有無 無 国際共著
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2. 論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions  3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 80 査読の有無 無
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2. 論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions  3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 80 査読の有無 無 国際共著
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2. 論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions  3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 80 査読の有無 無 国際共著
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2. 論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions  3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 80 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻
2. 論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions 3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 80 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2. 論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions  3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 80 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻
2. 論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions 3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2. 論文標題 Bone-conducted ultrasound presented to the neck, trunk and arm- Self-demodulation	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 80 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions  3 . 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 Bone-conducted ultrasound presented to the neck, trunk and arm- Self-demodulation characteristics in the human body -	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 80 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions  3 . 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 Bone-conducted ultrasound presented to the neck, trunk and arm- Self-demodulation characteristics in the human body -  3 . 雑誌名	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 80 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
2. 論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions 3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2. 論文標題 Bone-conducted ultrasound presented to the neck, trunk and arm- Self-demodulation characteristics in the human body - 3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 80 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions  3 . 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 Bone-conducted ultrasound presented to the neck, trunk and arm- Self-demodulation characteristics in the human body -  3 . 雑誌名	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 80 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
2. 論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions 3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2. 論文標題 Bone-conducted ultrasound presented to the neck, trunk and arm- Self-demodulation characteristics in the human body - 3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 80 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions 3.雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2.論文標題 Bone-conducted ultrasound presented to the neck, trunk and arm-Self-demodulation characteristics in the human body -  3.雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 80 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 79
2. 論文標題 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  1. 著者名 Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2. 論文標題 Bone-conducted ultrasound presented to the neck, trunk and arm-Self-demodulation characteristics in the human body -  3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  ###################################	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 80
2.論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions 3.雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2.論文標題 Bone-conducted ultrasound presented to the neck, trunk and arm-Self-demodulation characteristics in the human body -  3.雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 80 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 79
2. 論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions 3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2. 論文標題 Bone-conducted ultrasound presented to the neck, trunk and arm- Self-demodulation characteristics in the human body -  3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare	
2. 論文標題 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  1. 著者名 Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2. 論文標題 Bone-conducted ultrasound presented to the neck, trunk and arm-Self-demodulation characteristics in the human body -  3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  ###################################	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 80
2. 論文標題 Comparison of Cartilage-conduction and Conventional Bone-conduction Hearings on Temporal and Frequency Resolutions 3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2. 論文標題 Bone-conducted ultrasound presented to the neck, trunk and arm- Self-demodulation characteristics in the human body -  3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare	

1 . 著者名	4 <del>**</del>
Suzuki Y, Otsuka S, Nakagawa S	4 . 巻
ouzuki i, otouka o, wakayawa o	
2.論文標題	5.発行年
Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex	2019年
	20.0
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in	83
BioMedical and Healthcare Application (IS 3T-in-3A)	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
A. Onishi, S. Nakagawa	-
2 . 論文標題	5 . 発行年
Within- and Between-Subject Classification of the Affective Auditory P300-based Brain-Computer	2019年
Interface	
B. 雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-	50-51
Medical and Healthcare	
■ また ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑	本芸の左毎
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
トープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<b>四</b> 际六百
カーノンテン ヒヘ C はない、 X はカーノンテン ヒヘル 凶無	<u>-</u>
1.著者名	4 . 巻
· 有有句 Ishizaka Y, Nakagawa S, Otsuka S	4 · 술 -
13112ana 1, Nanayawa 3, Utsuka 3	
╵╸論文煙顊	5 発行年
······	5 . 発行年 2019年
論文標題 Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex	5 . 発行年 2019年
Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex	2019年
Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex 3.雑誌名	
Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex 3.雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-	2019年 6 . 最初と最後の頁
Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex 3.雑誌名	2019年 6 . 最初と最後の頁
Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex 3.雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare	2019年 6 . 最初と最後の頁
Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex . 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare	2019年 6 . 最初と最後の頁 -
Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex 3.雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare	2019年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無
Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex 3.雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2019年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無
Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex . 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare	2019年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 無
Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex 3.雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 無
Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex	2019年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 無
Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex 3.雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2019年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 無 国際共著 -
Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex 3.雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2019年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 無 国際共著 -
Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex 3.雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし エープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  . 著者名 石川大夢 , 大塚翔 , 中川誠司	2019年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 無 国際共著
Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex  3.雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  調載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  ープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  . 著者名 石川大夢 , 大塚翔 , 中川誠司	2019年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 -
Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex 3.雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 石川大夢,大塚翔,中川誠司 2.論文標題	2019年 6.最初と最後の頁
Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex 3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare    お	2019年 6.最初と最後の頁
Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex 3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare    本記	2019年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無 国際共著 -  4.巻 - 5.発行年 2019年
Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex 3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare    新文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし   アープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無 国際共著 -  4.巻 - 5.発行年 2019年
Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex  3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  3載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 石川大夢,大塚翔,中川誠司  2. 論文標題 両側に遠位呈示された骨導超音波による頭内定位の検討  3. 雑誌名 日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2019抄録集	2019年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 -
Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex  3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare    調整	2019年 6.最初と最後の頁 -  -  -  -  -  -  -  -  -  -  -  -  -
Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex  3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare    調整	2019年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 -
Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex 3. 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare  『歌文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 石川大夢,大塚翔,中川誠司  2. 論文標題 両側に遠位呈示された骨導超音波による頭内定位の検討  3. 雑誌名 日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2019抄録集	2019年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無
3 . 雑誌名 Proceedings of the International Symposium on Info Comm and Mechatronics Technology in Bio-Medical and Healthcare	2019年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無

1.著者名	4 . 巻
菅原優聖,中川誠司,大塚翔 	-
2.論文標題	5.発行年
2.調ス保超 軟骨伝導の呈示部位が聴覚閾および頭部加速度に及ぼす影響	2019年
秋月12年の主小中世が私見図のよび頃即加速反に次はすが昔	20194
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2019抄録集	28
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国际共 <b>有</b>
オープンアプセス こはない、 又はオープンアプセスが凶無	-
1.著者名	4 . 巻
内藤柚菜,柴玲子,Yap Gaik Sean,大塚翔,湯本真人,中川誠司	-
ר אינארן אינארן אינארן פעווי סטעוון איניארן ואינארן אינארן אינארן אינארן	
2.論文標題	5.発行年
メロディーの輪郭がミスマッチ・フィールドに及ぼす影響の検討	2019年
2 hAtt-4-67	
3.雑誌名 □★##佐広工学会問恵本如茶毛研究老路表会2040世紀集	6.最初と最後の頁
日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2019抄録集	40
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際サギ
オーノンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアプセス こはない、 又はオープンアプセスが凶無	-
1.著者名	4 . 巻
高尾まりあ,大塚翔,中川誠二,廣瀬賢明	-
1-37-000 7-00 7-77-000 7-17-18WIII - 7-15-000 5-00-1	
2 . 論文標題	5.発行年
複数話者存在下での聴取能力と言語性・視空間性ワーキングメモリの容量との関係	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2019抄録集	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	<b>無</b>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
I. 者者名 廣瀬賢明, 大塚翔, 髙尾まりあ, 中川誠司	4. 仓
皮  枳臭切,八外別,  印尼よソの,T川帆中	
2 . 論文標題	5.発行年
競合音存在下での聴取能力に影響を与える要因の検討	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2019抄録集	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
· <del>G</del> · C	<del>////</del>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1.著者名	4 . 巻
齊藤慎之介,大塚翔,前佛聡樹,堀創史,本多通孝,中川誠司	-
2 . 論文標題	5 . 発行年
雪動音発生メカニズムの検証 -腸蠕動動画との相関-	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2019抄録集	-
	****
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1. 著者名	4 . 巻
A. Onishi, S. Nakagawa	-
2 . 論文標題	5 . 発行年
Comparison of Classifiers for the Transfer Learning of Affective Auditory P300-Based BCIs	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the 41th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	6766-6769
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	<b>#</b>
オープンアクセス	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- -
1.著者名	4 . 巻
Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	-
2 . 論文標題	5 . 発行年
Self-demodulation Characteristics of Amplitude-modulated Bone-conducted Ultrasound in the Human	2019年
Body Presented to the Neck, Trunk and Arms 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceeding of the 40th Symposium on UltraSonic Electronics (USE2019)	-
(volume of the form of the for	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Ogino R, Doi K, Otsuka S, Nakagawa S	-
2 . 論文標題	5 . 発行年
Propagation and perception characteristics of distantly-presented bone-conducted sounds -	2019年
Comparison between ultrasonic and low-frequency ranges- 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceeding of the 40th Symposium on UltraSonic Electronics (USE2019)	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
物製品のLOT(デンタルオンシェクトiakが子) なし	直読の有無 有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1.著者名	4 . 巻
齊藤慎之介,大塚翔,前佛聡樹,堀創史,本多通孝,中川誠司	-
2.論文標題	
2 · 端又保超 腹部多チャネル録音による蠕動音伝搬特性の検証	
版記多プヤイル球目による端割自仏伽行性の快証	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2020年春季研究発表会講演論文集	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
. ***	4 24
1 . 著者名	4 . 巻
ヤップ ゲック シエン、大塚 翔,中川誠司	-
2.論文標題	5.発行年
- 工・神文伝題 - 耳介のサイズ・形状が軟骨伝導知覚の検出闘特性に及ぼす影響	2020年
サルシェス ルルバルを日心守州見が15川岡171川に区はメ影音	2020
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2020年春季研究発表会講演論文集	43
· · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
	4. 仓
荻野利基,土井公一朗,大塚翔,中川誠司	-
2.論文標題	5.発行年
遠位呈示骨導音の周波数に依存した知覚特性の変化	2020年
ARELOND TO PROPERTY OF THE PRO	2020 1
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2020年春季研究発表会講演論文集	1-Q-16
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
   ナーゴンマクセフ	
オーブンアクセス オープンマクセスではない、又はオープンマクセスが困難	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
□・者有石 廣瀬賢明,大塚翔,髙尾まりあ,中川誠司	4 · 경   _
	-
2.論文標題	5.発行年
・	2020年
- パロコン E i Committee in Comm	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2020年春季研究発表会講演論文集	44
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
	無
なし	/W
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名 土井公一朗,荻野利基,大塚翔,中川誠司	4 . 巻
2.論文標題	5.発行年
遠位呈示AM骨導超音波の周波数弁別閾および単音節明瞭度・単語了解度	2020年
고 사람 수	( 目がし目後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2020年春季研究発表会講演論文集	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
, +++/-	
1 . 著者名	4 . 巻
菅原優聖,中川誠司,大塚翔	-
2 . 論文標題	
2. 調文信題 骨伝導スマートホンの出力校正法の構築を目指した知覚閾および頭部内伝搬過程の計測	2020年
日心守へ、 「小ノツ山ノ火止/4ツ伸米で口指した和見國のよび頭部内心放應性以計/測	2020-1-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2020年春季研究発表会講演論文集	1-Q-11
The second secon	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
+ +\	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	4 . 巻
1.者有石 内藤柚菜,Yap Gaik Sean,柴玲子,大塚翔,湯本真人,中川誠司	4.登   .
Y3版和本,IQP DOIN DECII,未仅于,八场加,勿华县八,中川誠미	-
2 . 論文標題	5.発行年
ン・	2020年
Y I Y I STRUGGE STATE I THE STATE OF THE STA	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2020年春季研究発表会講演論文集	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際仕事
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 
カーフンティに入てはない。 又はカーフンディ に入げ四共	<u> </u>
	4 . 巻
高尾まりあ,大塚翔,中川誠二	-
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
2 . 論文標題	5.発行年
複数話者存在下の聴取能力と言語性・非言語性ワーキングメモリとの関係	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2020年春季研究発表会講演論文集	45
	本生の大畑
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
カーフファンヒ人	国际共有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	

1.著者名	4 . 巻
信夫大志,大塚翔,中川誠司	-
2.論文標題	5.発行年
2 · 調文保題 耳栓装用時の骨伝導音知覚に及ぼす刺激呈示部位および周囲騒音レベルの効果	1 - 1,- 1
<u> 中任表用時の質は得自和見に次は9判成主小部位のよの同因独自レベルの効果</u>	2020年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2020年春季研究発表会講演論文集	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	T
1 . 著者名	4 . 巻
石坂勇毅,大塚翔,中川誠司	-
2.論文標題	5 . 発行年
2. 調え場と 先行音列の規則性がオリーブ蝸牛束反射に与える影響:耳音響放射と脳波の同時計測によるアプローチ	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2020年春季研究発表会講演論文集	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
なし	無無
'& U	<del>///</del>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
石川大夢,大塚翔,中川誠司	-
2.論文標題	r 整仁左
	5.発行年
両側に遠位呈示された骨導超音波による頭内定位 - 時間差及び強度差の影響 -	2020年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2020年春季研究発表会講演論文集	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	-
AAAA ITTIT	77.7
2.論文標題	5 . 発行年
Effects of placements on bone-conducted sound transmission by measurements of hearing	2020年
thresholds, ECSP and acceleration on the head 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3.維認台 The Proc. of ASJ 2020 Spring Meeting	○ ・取がこ取役の員
THE TIOC. OF MOD 2020 OPTING WEETING	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
ナーポンフクセフ	同欧井笠
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名	4 . 巻
Ogino R, Doi K, Otsuka S, Nakagawa S	-
2.論文標題	5.発行年
Propagation characteristics of distantly-presented bone-conducted sounds -Comparision between	2019年
ultrasonic and low-frequency ranges-	20194
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
*****	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
The 9th International Symposium on InfoComm & Mechatronics Technology in Bio-Medical & Healthcare Applications(IS 3T in 3A 2019)	-
nearthcare Apprications (13-31-111-3A-2019)	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	-
2.論文標題	5 . 発行年
Influence of placement on bone-conducted transmission -Measurements of hearing threshold and	2019年
ear-canal sound pressure-	2013 <del>4</del>
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
The Proc. of The Auditory Research Meeting	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
19世紀 は 1000 ( アンタルオングェッド・戦別 ) )	
40	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
コープンプラ これではない、人はコープンプラ これが 四衆	
1 . 著者名	4 . 巻
Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	-
majaan ann sho stounu, oorji hunugunu	
2.論文標題	5.発行年
The discussion on the influence of different materials of earplugs in BC measurements.	2020年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Association for Research in Otolaryngology 43rd Annual MidWinter Meeting	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
なし	無 
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Ogino R, Doi K, Otsuka S, Nakagawa S	-
2	F 36/- F
2 . 論文標題	5 . 発行年
Comparison of Perception Characteristics of Distantly-presented Bone-conducted Sounds between	2020年
Ultrasonic and Low-frequency Ranges	6 PAT   P//: - T
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Association for Research in Otolaryngology 43rd Annual MidWinter Meeting	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1 . 著者名	4 . 巻
Koichiro Doi, Riki Ogino, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	-
2.論文標題 Perceptual characteristics of bone-conducted ultrasound presented to the neck, trunk, and arms; Effect of self-demodulation in the human body	5.発行年 2020年
3.雑誌名 Association for Research in Otolaryngology 43rd Annual MidWinter Meeting	6.最初と最後の頁 379
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無   無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
. ###	
1.著者名 Ishizaka Y, Nakagawa S, Otsuka S	4.巻   <u>-</u>
2.論文標題 Effect of Temporal Regularity of Preceding Sound Sequences on Medial Olivocochlear Reflex	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Association for Research in Otolaryngology 43rd Annual MidWinter Meeting	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	金読の有無無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
. #46	1
1 . 著者名 Shinobu T, Otsuka S, Nakagawa S	4.巻   - 
2. 論文標題 Effect of the vibrator placement on perception and propagation of bone-conducted sound during earplugging	5.発行年 2020年
3.雑誌名 Association for Research in Otolaryngology 43rd Annual MidWinter Meeting	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 西村 忠己, 細井 裕司, 森本 千裕, 赤坂 咲恵, 岡安 唯, 山下 哲範, 山中 敏彰, 北原 糺	4.巻 122
2 . 論文標題 軟骨伝導補聴器希望者の受診契機について	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 日本耳鼻咽喉科学会会報	6.最初と最後の頁 1522-1527
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) https://doi.org/10.3950/jibiinkoka.122.1522	   査読の有無   有
	国際共著

1 菜2勺	I 4 <del>**</del>
1 . 著者名	4 . 巻
Nishimura T, Miyamae R, Hosoi H, Saito O, Shimokura R, Yamanaka T, Kitahara T	46
2 . 論文標題	5.発行年
Frequency characteristics and speech recognition in cartilage conduction	2019年
. 雑誌名	6.最初と最後の頁
Auris Nasus Larynx.	709-715
  弱載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u> </u>   査読の有無
10.1016/j.anl.2019.01.002	有
ナープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
.著者名	4 . 巻
Hosoi H, Nishimura T, Shimokura R, Kitahara T.	46
	5 . 発行年
Cartilage conduction as the third pathway for sound transmission.	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Auris Nasus Larynx.	151-159
  載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
車以前又の101 (ブラダルオフシェッド部がデ) 10.1016/j.anl.2019.01.005	有
ープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
. 著者名	4 . 巻
Ogino R, Otsuka S, Nakagawa S	58
2.論文標題	5 . 発行年
Measurements of vibration in the external auditory meatus caused by distantly presented bone-conducted ultrasonic hearing	2019年
B.維誌名	6.最初と最後の頁
Japanese Journal of Applied Physics	SGGE12:1-8
  載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
9車Xim 又の001(ナシタルオンシェッドinxがテ) 10.7567/1347-4065/ab1fda	無無
トープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
.著者名	4 . 巻
Nakagawa S, Doi K, Ogino S, Otsuka S	58
	5.発行年
Propagation characteristics of amplitude-modulated bone-conducted ultrasounds distantly presented to the neck, trunk and arms	2019年
B. 雑誌名	6.最初と最後の頁
Japanese Journal of Applied Physics	SGGE18:1-6
Sapanese Southar of Appried Physics	
	査読の有無
	   査読の有無   有
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	

1 . 著者名 Okayasu T, Nishimura T, Uratani Y, Yamashita A, Nakagawa S, Hosoi H, Kitahara T	4.巻 696
2.論文標題 Temporal window of integration estimated by omission in bone-conducted Ultrasound	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Neuroscience Letters	001-006
Neuroscience Letters	001-000
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.neulet.2018.11.035	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンテクセスではない、文はオープンテクセスが四乗	<u>-</u>
1 . 著者名	4 . 巻
Onishi Akinari, Nakagawa Seiji	13
2.論文標題	5.発行年
How Does the Degree of Valence Influence Affective Auditory P300-Based BCIs?	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Neuroscience	45:1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
https://doi.org/10.3389/fnins.2019.00045	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 英本存	1 A **
1.著者名 岡本 洋輔,神谷 勝,中川 誠司	4.巻 21
2.論文標題	5.発行年
色によるエアコン動作状況表示が温冷感推移に及ぼす影響 Air conditioner status of operation as indicated by color modulates transition of thermal perception	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
ヒューマンインタフェース学会論文誌	203-210
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u>   査読の有無
https://doi.org/10.11184/his.21.2_203	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
カープラックと人ではない人 人はカープラックと人が 四共	_
1 . 著者名	4.巻
Sho Otsuka, Seiji Nakagawa, Shigeto Furukawa	10
2.論文標題	5.発行年
A Preceding Sound Expedites Medial Olivocochlear Reflex	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
ACTA ACUSTICA UNITED WITH ACUSTICA	804-808
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u>   査読の有無
10.3813/AAA.919228	有
	国際共著

1.著者名	4 . 巻
ヤップ ゲック シエン,大塚翔,湯本真人, 中川誠司	31
	5.発行年
ミスマッチ・フィールド計測および心理物理計測による軟骨伝導知覚の時間分解能特性評価	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本生体磁気学会誌 	144-145
   掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Nakagawa S, Ito K	- -
2.論文標題	5.発行年
Mechanisms of Bone-conducted Ultrasonic Perception Assessed by Measurements of Acoustic Fields in the Outer Ear Canal and Vibrations of the Tympanic Membrane	2018年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the 40th International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	5962 - 5965
   掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
10.1109/EMBC.2018.8513514	無無
   オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	T
1 . 著者名 Naoki Saga, Hajime Yano, Tetsuya Takiguchi, Yoshiharu Soeta, Seiji Nakagawa	4 . 巻
	5.発行年
Spatiotemporal Characteristics of Cortical Activities Associated with Articulation of Speech Perception	2018年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the 40th International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	1066 - 1069
   掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
10.1109/EMBC.2018.8512500	直読の有無   無
   オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4	
1 . 著者名 Ogino R, Otsuka S, Nakagawa S	4 . 巻
	5.発行年
Assessments of basic properties of distal-presented bone-conducted ultrasonic hearing	2018年
	6.最初と最後の頁
Proceedings of the 40th International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	2198 - 2201
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u>   査読の有無
10.1109/EMBC.2018.8512632	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1 . 著者名	4 . 巻
A. Onishi, S. Nakagawa	-
2. 論文標題 Ensemble Convoluted Feature Extraction for Affective Auditory P300 Brain-Computer Interfaces	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Proceedings of the 40th International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	6.最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/EMBC.2018.8512688	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	4 . 巻
2.論文標題 Contribution of Placement in Bone-Conducted Transmission Comparison between Condyle and Mastoid	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Proceedings of the 40th International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	6.最初と最後の頁-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名	4 . 巻
Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
2.論文標題 Objective Evaluation of Fundamental Perception Characteristics of Cartilage Conduction by Brain Magnetic Field Measurement	
3.雑誌名 Proceedings of the 40th International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	6.最初と最後の頁 125
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa	4 . 巻
2 . 論文標題 An objective assessment of temporal resolution of cartilage-conduction hearing using neuromagnetic measurements	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 2018 ICME International Conference on Complex Medical Engineering	6.最初と最後の頁 54
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1 . 著者名	4 . 巻
大西章也,中川誠司	-
	F 3V./= kg
2.論文標題	5.発行年
脳波フラクタル次元を用いた音の快・不快指標の検討	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集	491 - 492
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
·	
1 . 著者名	4.巻
Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	-
, 2, 2, 200 (100 mm, 201) 1 mmmgmm	
2. 論文標題	5.発行年
Effects of bone-conducted vibrator placement on hearing threshold	2018年
Erroots of bone-conducted vibrator pracement on hearing threshord	2010-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集	-
世載会立のDOL(ごごねリオブジェクト学別ス)	本性の方無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
荻野利基,土井公一朗,大塚翔,中川誠司	-
2	
2.論文標題	5.発行年
2 . 論文標題 遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価	5.発行年 2018年
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価	2018年
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価	2018年
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価 3.雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価 3.雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集	2018年 6 . 最初と最後の頁
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価 3.雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価 3.雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集	2018年 6 . 最初と最後の頁 1-Q-32
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価 3.雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 1-Q-32 査読の有無
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価 3.雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 1-Q-32 査読の有無 有
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価  3.雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁 1-Q-32 査読の有無
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価  3.雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2018年 6.最初と最後の頁 1-Q-32 査読の有無 有
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価  3.雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2018年 6.最初と最後の頁 1-Q-32  査読の有無 有  国際共著
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価  3.雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名	2018年 6.最初と最後の頁 1-Q-32  査読の有無 有 国際共著 -
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価  3.雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2018年 6.最初と最後の頁 1-Q-32  査読の有無 有  国際共著
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価  3.雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 YAP GAIK SEAN,大塚翔,中川誠司	2018年 6.最初と最後の頁 1-Q-32  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 -
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価  3.雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 YAP GAIK SEAN, 大塚翔, 中川誠司	2018年 6.最初と最後の頁 1-Q-32  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価  3.雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 YAP GAIK SEAN, 大塚翔, 中川誠司	2018年 6.最初と最後の頁 1-Q-32  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 -
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価  3 . 雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 YAP GAIK SEAN , 大塚翔 , 中川誠司  2 . 論文標題 軟骨伝導音声の明瞭度	2018年 6.最初と最後の頁 1-Q-32  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2018年
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価  3.雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 YAP GAIK SEAN, 大塚翔, 中川誠司  2.論文標題 軟骨伝導音声の明瞭度  3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁 1-Q-32  - 査読の有無
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価  3.雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 YAP GAIK SEAN,大塚翔,中川誠司  2.論文標題 軟骨伝導音声の明瞭度	2018年 6.最初と最後の頁 1-Q-32  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2018年
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価  3 . 雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 YAP GAIK SEAN , 大塚翔 , 中川誠司  2 . 論文標題 軟骨伝導音声の明瞭度  3 . 雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁 1-Q-32  - 査読の有無
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価  3 . 雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 YAP GAIK SEAN , 大塚翔 , 中川誠司  2 . 論文標題 軟骨伝導音声の明瞭度  3 . 雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集	2018年 6.最初と最後の頁 1-Q-32  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 62
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価  3 . 雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 YAP GAIK SEAN , 大塚翔 , 中川誠司  2 . 論文標題 軟骨伝導音声の明瞭度  3 . 雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 1-Q-32  - 査読の有無
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価  3.雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 YAP GAIK SEAN,大塚翔,中川誠司  2.論文標題 軟骨伝導音声の明瞭度  3.雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集	2018年 6.最初と最後の頁 1-Q-32  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 62
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価  3 . 雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1 . 著者名 YAP GAIK SEAN , 大塚翔 , 中川誠司  2 . 論文標題 軟骨伝導音声の明瞭度  3 . 雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2018年 6.最初と最後の頁 1-Q-32  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 62  査読の有無 有
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価  3 . 雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 YAP GAIK SEAN , 大塚翔 , 中川誠司  2 . 論文標題 軟骨伝導音声の明瞭度  3 . 雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁 1-Q-32  - 査読の有無
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価  3 . 雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 YAP GAIK SEAN,大塚翔,中川誠司  2 . 論文標題 軟骨伝導音声の明瞭度  3 . 雑誌名 日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	2018年 6.最初と最後の頁 1-Q-32  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 62  査読の有無 有

1 . 著者名	4 . 巻
土井公一朗,荻野利基,大塚翔,中川誠司	-
2.論文標題	5.発行年
え、	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集	459-460
口平日言于公2010年1八子则几元仅公晤/庆赐入朱	733-400
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	4 . 巻
—	4 · 巻   ·
Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	-
2. 論文標題	5.発行年
Estimation on the influence of placement on bone conduction transmission by ear-canal sound pressure	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the UAC symposium	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Ogino R, Otsuka S, Nakagawa S	-
2.論文標題	5 . 発行年
Measurements of vibration in the external auditory meatus caused by distantly presented bone conducted ultrasounds.	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the Symposium on Ultrasonic Electronics 2018	1P-5-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	/ A 类
I.者有名 Gaik Sean Yap,大塚翔, 中川誠司	4.巻
2 . 論文標題	5.発行年
生理計測及び心理物理計測による軟骨伝導の知覚特性の評価	2018年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
3回千葉大学グローバルプロミネント研究基幹シンポジウムプロシディング	24
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

	T
1.著者名	4.巻
ヤップ ゲック シエン , 大塚翔 , 中川誠司	-
2 . 論文標題	5.発行年
軟骨伝導による単音節明瞭度特性	2018年
秋月仏等による千日即内邸反付は	20104
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2018抄録集	12
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
なし	有
	F
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
実川徹,大塚翔,中川誠司	
天川版,八多799,117川晚日	
2.論文標題	5 . 発行年
軟骨伝導の呈示位置における知覚特性の変化	2018年
2 18	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2018抄録集	35
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国际共者
オープンデクセスではない、又はオープンデクセスが倒無	
1 . 著者名	4 . 巻
中前美祐,柴玲子,ヤップゲックシエン,大塚明日香,大塚翔,湯本真人,中川誠司	-
2.論文標題	5 . 発行年
調性感覚を引き起こす音列によるミスマッチ反応の計測	2018年
그 사람수	て 目知に目後の方
3.雑誌名 日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2018抄録集	6.最初と最後の頁
口平土冲达上子云 到宋又即右于忻九有光衣云2010沙球朱	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
中嶋春葵,大塚翔,神谷勝,中川誠司	-
2	F 36/- F
2 . 論文標題	5 . 発行年
空調音の主観的好ましさを決定するパラメータの検討	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2018抄録集	29
日午工作位工于AI对不又即有于WIN日元仅A2VIVI/JX水	20
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
コーファット ころ こいらい 八 八 コープラフ に 八 四 元	

1.著者名	4 . 巻
長内涼,大塚翔,中川誠司	-
2 . 論文標題	5.発行年
2. 調え伝送 競合音存在下での聴取能力とワーキングメモリ容量との関係	2018年
成日日行江下での極久能力でプートグラグでプログログ	2010-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2018抄録集	19
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
なし	有
4. U	F
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4.巻
—	4 . 술   -
土井公一朗,荻野利基,大塚翔,中川誠司	-
2.論文標題	5.発行年
遠位呈示されたAM骨導超音波の体内伝搬過程による復調特性の検討	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2018抄録集	14
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
なし	有
-6-0	13
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	A #
	4 . 巻
良知壮太郎,大塚翔,中川誠司	-
2 . 論文標題	5.発行年
感音性難聴者におけるオリーブ蝸牛束の機能の評価	2018年
	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2018抄録集	15
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 │ 査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4.巻
→ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-
24-1-1H 77 1 2 (2010) 1 1 1 1 HMM C	
2. 論文標題	5.発行年
覚醒度の変動がオリープ蝸牛束反射に与える影響	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2018抄録集	27
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
なし	有
	1-
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

│ 1 . 著者名	
大西章也,中川誠司	
2.論文標題 5.発行	年
脳波スカラ特徴群を用いた快音・不快音の識別 2019年	
3.雑誌名 6.最初	と最後の頁
日本音響学会 2019年 春季研究者発表会 講演論文集 547-59	8
	無
なし	有
オープンアクセス 国際共著	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 *****	
1.著者名  Yuwuga Oin Sho Otsuka Saiii Nakagawa	
Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa -	
2.論文標題 5.発行	年
Effects of bone-conducted vibrator placement on ear-canal sound pressure 2019年	
	と最後の頁
日本音響学会 2019年 春季研究者発表会 講演論文集 -	
掲載論文のDOI ( デジタルオブジェクト識別子 )	<del></del>
なし	有
	13
オープンアクセス 国際共著	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 ****	
1 . 著者名	
狄封·利基,工并公一员,入场利,中川或·马	
2 . 論文標題 5 . 発行	年
身体表面振動の計測による遠位呈示骨導超音波の伝播特性の検討 2019年	
	と最後の頁
日本音響学会 2019年 春季研究者発表会 講演論文集	
掲載論文のDOI ( デジタルオブジェクト識別子 )	<b></b>
なし	有
オープンアクセス 国際共著	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1. 著者名 4. 巻	
YAP GAIK SEAN,大塚翔, 中川誠司	
2.論文標題 5.発行	<del></del> 年
・ によっている における 伝搬 メカニズムを 考慮 した 軟骨 伝導の 検出 閾特性の 推定 2019年	
The second secon	
	と最後の頁
3.維誌名       6.最初         日本音響学会 2019年 春季研究者発表会 講演論文集       138	
日本音響学会 2019年 春季研究者発表会 講演論文集 138	<u>無</u>
日本音響学会 2019年 春季研究者発表会 講演論文集       138         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)       査読の有	
日本音響学会 2019年 春季研究者発表会 講演論文集 138	無 有
日本音響学会 2019年 春季研究者発表会 講演論文集       138         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)       査読の有	有

	T
1,著者名	4 . 巻
実川徹,大塚翔,中川誠司	-
2.論文標題	5.発行年
	2019年
耳介における呈示部位が軟骨伝導知覚に与える影響の検討	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会 2019年 春季研究者発表会 講演論文集	521-522
	021 022
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
ナーショルトコ	同哪井茶
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
・・ 有 日 中 中前美祐,柴玲子,ヤップゲックシエン,大塚明日香,大塚翔,湯本真人,中川誠司	4 . <del>2</del>
TBU大TU,木々丁,ドラファッテッエン,八塚明日官,八塚柳,廖平县八,中川誠미	
2.論文標題	5.発行年
音階構造の異なる音列に対するミスマッチ反応の計測	2019年
THE STATE OF THE S	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会 2019年 春季研究者発表会 講演論文集	142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	III
ファンフ Civilia Grit, Albai ファンフ Civili 山州	
1 . 著者名	4.巻
長内涼,大塚翔,中川誠司	-
2 . 論文標題	5.発行年
競合音存在下での聴取能力とワーキングメモリ容量との関係	2019年
- ANAL -	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会 2019年 春季研究者発表会 講演論文集	525-526
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	杏誌の右無
	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
なし	
なし	有
なし オープンアクセス	有
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	有
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 土井公一朗,荻野利基,大塚翔,中川誠司	有 国際共著 - 4.巻 -
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 土井公一朗,荻野利基,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題	有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 土井公一朗,荻野利基,大塚翔,中川誠司	有 国際共著 - 4.巻
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 土井公一朗,荻野利基,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 遠位呈示AM骨導超音波の体内伝搬過程による復調特性の検討	有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2019年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 土井公一朗,荻野利基,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 遠位呈示AM骨導超音波の体内伝搬過程による復調特性の検討 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 土井公一朗,荻野利基,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 遠位呈示AM骨導超音波の体内伝搬過程による復調特性の検討	有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2019年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 土井公一朗,荻野利基,大塚翔,中川誠司 2 . 論文標題 遠位呈示AM骨導超音波の体内伝搬過程による復調特性の検討 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 土井公一朗,荻野利基,大塚翔,中川誠司  2 . 論文標題 遠位呈示AM骨導超音波の体内伝搬過程による復調特性の検討  3 . 雑誌名 日本音響学会 2019年 春季研究者発表会 講演論文集	有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 519-520
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 土井公一朗 , 荻野利基 , 大塚翔 , 中川誠司  2 . 論文標題 遠位呈示AM骨導超音波の体内伝搬過程による復調特性の検討  3 . 雑誌名 日本音響学会 2019年 春季研究者発表会 講演論文集	有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 519-520
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 土井公一朗,荻野利基,大塚翔,中川誠司  2 . 論文標題 遠位呈示AM骨導超音波の体内伝搬過程による復調特性の検討  3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 519-520
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 土井公一朗 , 荻野利基 , 大塚翔 , 中川誠司  2 . 論文標題 遠位呈示AM骨導超音波の体内伝搬過程による復調特性の検討  3 . 雑誌名 日本音響学会 2019年 春季研究者発表会 講演論文集	有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 519-520

1.著者名   中嶋春葵,大塚翔,神谷勝,中川誠司 	4.巻
中嶋春葵,大塚翔,神谷勝,中川誠司	
	-
2 . 論文標題	5.発行年
HVAC音の主観的好ましさに寄与する音響パラメータの検討	2019年
The state of the s	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会 2019年 春季研究者発表会 講演論文集	561 - 562
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
なし	有
オープンアクセス	
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
カーフンアクセスとはない、又はカーフンアクセスが四乗	
1 . 著者名	4 . 巻
良知壮太郎,大塚翔,中川誠司	-
2	F 発生生
2 . 論文標題 感音性難聴者におけるオリーブ蝸牛束反射の諸特性	5 . 発行年 2019年
必由  工作が日に切けるグラブ両千木区2] 27時1寸は	2013-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会 2019年 春季研究者発表会 講演論文集	539-540
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	4 . 巻
鈴木裕登,大塚翔,中川誠司	-
2.論文標題	5 . 発行年
覚醒度とオリープ蝸牛束反射強度との関係	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会 2019年 春季研究者発表会 講演論文集	537-538
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
ヤップ ゲック シエン,大塚翔,湯本真人, 中川誠司	-
2 . 論文標題	5.発行年
脳磁界計測および心理物理計測による軟骨伝導知覚特性の客観評価	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
第21回日本ヒト脳機能マッピング学会講演抄録集	101
	   査読の有無
掲載絵文のDOL(デジタルオブジェクト辨別ス)	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	重読の有無無

. ***	. 24
1. 著者名	4 . 巻
中前美祐,柴玲子,ヤップゲックシエン,大塚明日香,大塚翔,湯本真人,中川誠司	-
2.論文標題	
2. 調文標題 様々な調性感覚を引き起こす音列に対する誘発脳磁界の計測	2019年
<b>依々な調性感覚を引き起こり百列に刈りる誘光脳幽芥の計測</b>	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
第21回日本ヒト脳機能マッピング学会講演抄録集	100
第21回日本に「MIXR くりこノノ子云繭/RJ/) 越来	100
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国际六名 -
3 プラブラとハではない、人は3 プラブラとハガ 出来	
1 . 著者名	4 . 巻
Nishimura T, Hosoi H, Saito O, Shimokura R, Yamanaka T, Kitahara T	39
2.論文標題	5 . 発行年
Cartilage Conduction Hearing Aids for Severe Conduction Hearing Loss	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Otology and Neurootology	65-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1097/MA0.0000000001644	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Nakagawa Seiji、Ogino Riki、Otsuka Sho	57
2.論文標題	5 . 発行年
	5 . 発行年 2018年
Assessment of detection threshold and temporal resolution of distantly presented bone-conducted	2010年
ultrasonic hearing	
ultrasonic hearing 3 雑誌名	6 最初と最後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	6 . 最初と最後の頁 07LD22~07LD22
3.雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	
3.雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
3.雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	07LD22 ~ 07LD22
3.雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) https://doi.org/10.7567/JJAP.57.07LD22	07LD22~07LD22 査読の有無 有
3.雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.7567/JJAP.57.07LD22 オープンアクセス	07LD22 ~ 07LD22 査読の有無
3.雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) https://doi.org/10.7567/JJAP.57.07LD22	07LD22~07LD22 査読の有無 有
3.雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.7567/JJAP.57.07LD22 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	07LD22 ~ 07LD22 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) https://doi.org/10.7567/JJAP.57.07LD22 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	07LD22~07LD22 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻
3.雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.7567/JJAP.57.07LD22 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	07LD22 ~ 07LD22 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) https://doi.org/10.7567/JJAP.57.07LD22  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Tatsukami S, Soata Y, Ishimitsu S, Nakagawa S	07LD22 ~ 07LD22 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 9(3)
3.雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) https://doi.org/10.7567/JJAP.57.07LD22  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Tatsukami S, Soata Y, Ishimitsu S, Nakagawa S  2.論文標題	07LD22~07LD22 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9(3) 5.発行年
3.雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) https://doi.org/10.7567/JJAP.57.07LD22  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Tatsukami S, Soata Y, Ishimitsu S, Nakagawa S	07LD22 ~ 07LD22 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 9(3)
3.雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) https://doi.org/10.7567/JJAP.57.07LD22 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Tatsukami S, Soata Y, Ishimitsu S, Nakagawa S  2.論文標題 Effects of active control of noise with music on subjective auditory impression and brain	07LD22~07LD22 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9(3) 5.発行年
3.雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) https://doi.org/10.7567/JJAP.57.07LD22  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Tatsukami S, Soata Y, Ishimitsu S, Nakagawa S  2.論文標題 Effects of active control of noise with music on subjective auditory impression and brain activity	の7LD22~07LD22 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9(3) 5.発行年 2018年
3.雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.7567/JJAP.57.07LD22 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Tatsukami S, Soata Y, Ishimitsu S, Nakagawa S  2.論文標題 Effects of active control of noise with music on subjective auditory impression and brain activity 3.雑誌名	の7LD22~07LD22 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9(3) 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) https://doi.org/10.7567/JJAP.57.07LD22 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Tatsukami S, Soata Y, Ishimitsu S, Nakagawa S  2.論文標題 Effects of active control of noise with music on subjective auditory impression and brain activity 3.雑誌名 ICIC Express Letters Part B: Applications	<ul> <li>O7LD22 ~ 07LD22</li> <li>査読の有無有</li> <li>国際共著 -</li> <li>4 . 巻 9(3)</li> <li>5 . 発行年 2018年</li> <li>6 . 最初と最後の頁 195-202</li> </ul>
3.雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.7567/JJAP.57.07LD22  オープンアクセス	<ul> <li>O7LD22 ~ O7LD22</li> <li>査読の有無有</li> <li>国際共著・</li> <li>4 . 巻 9(3)</li> <li>5 . 発行年 2018年</li> <li>6 . 最初と最後の頁 195-202</li> <li>査読の有無</li> </ul>
3.雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) https://doi.org/10.7567/JJAP.57.07LD22  オープンアクセス	07LD22~07LD22  査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 9(3) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 195-202
3.雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.7567/JJAP.57.07LD22  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Tatsukami S, Soata Y, Ishimitsu S, Nakagawa S  2.論文標題 Effects of active control of noise with music on subjective auditory impression and brain activity  3.雑誌名 ICIC Express Letters Part B: Applications  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24507/icicelb.09.03.195	<ul> <li>07LD22 ~ 07LD22</li> <li>査読の有無有</li> <li>国際共著・</li> <li>4 . 巻 9(3)</li> <li>5 . 発行年 2018年</li> <li>6 . 最初と最後の頁 195-202</li> <li>査読の有無有</li> </ul>
3.雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.7567/JJAP.57.07LD22  オープンアクセス	<ul> <li>07LD22 ~ 07LD22</li> <li>査読の有無有</li> <li>国際共著 -</li> <li>4 . 巻 9(3)</li> <li>5 . 発行年 2018年</li> <li>6 . 最初と最後の頁 195-202</li> <li>査読の有無</li> </ul>

1 . 著者名   中川誠司   -	4 . 巻 第1章
2 . 論文標題 第1章 感覚のメカニズム、受容体と神経回路 第4節 聴覚	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名口・鼻・耳の感覚メカニズムと応用技術	6.最初と最後の頁 44-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 中川誠司	4 . 巻 第6章
2.論文標題 第6章 聴覚・前庭覚・骨伝導の応用 第2節 骨伝導のメカニズムと応用	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 口・鼻・耳の感覚メカニズムと応用技術	6 . 最初と最後の頁 281-289
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし	査読の有無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Otsuka S, Nakagawa S, Furukawa S	<b>4</b> .巻 104
2.論文標題 A preceding sound expedites medial olivocochlear reflex	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Acta Acustica united with Acustica	6.最初と最後の頁 804-808
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) https://doi.org/10.3813/AAA.919228	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 Yap Gaik Sean,大塚翔,湯本真人, 中川誠司	4.巻 31
2.論文標題 ミスマッチ・フィールド計測および心理物理計測による軟骨伝導知覚の時間分解能特性評価	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 日本生体磁気学会誌	6 . 最初と最後の頁 144-145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名	4 . 巻
A. Onishi, S. Nakagawa	40
2. 論文標題 Ensemble Convoluted Feature Extraction for Affective Auditory P300 Brain-Computer Interfaces	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Proceedings of the International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	6 . 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
. ***	4 244
1 . 著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	4 . 巻 40
2.論文標題 Contribution of Placement in Bone-Conducted Transmission: Comparison between Condyle and Mastoid	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Proceedings of the International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	6.最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa	4.巻 40
2. 論文標題 Objective Evaluation of Fundamental Perception Characteristics of Cartilage Conduction by Brain Magnetic Field Measurement	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Proceedings of the International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	6 . 最初と最後の頁 125
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa	4 . 巻
2.論文標題 An objective assessment of temporal resolution of cartilage-conduction hearing using neuromagnetic measurements	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 2018 ICME International Conference on Complex Medical Engineering	6 . 最初と最後の頁 54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1 . 著者名	4 . 巻
大西章也,中川誠司	-
2.論文標題	5.発行年
脳波フラクタル次元を用いた音の快・不快指標の検討	2018年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会講演論文集	491-492
	* * * o + #
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
   オープンアクセス	国際共著
· · · · · · - · ·	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
	4 . 중
Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	-
2.論文標題	5.発行年
	2018年
Effects of bone-conducted vibrator placement on hearing threshold	20104
	6.最初と最後の頁
3 · ####	○・取別し取役の只
日午日百丁五時/宍崎入木	<u> </u>
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	,
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	-
1.著者名	4.巻
荻野利基,土井公一朗,大塚翔,中川誠司	-
2.論文標題	5.発行年
遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会講演論文集	32-33
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	The state of the s
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
. ***	1 , 44
1 . 著者名	4 . 巻
Yap Gaik Sean,大塚翔, 中川誠司	-
2	F 36/- F-
2.論文標題	5.発行年
軟骨伝導音声の明瞭度	2018年
	6 単辺し単独の音
2. 姓士夕	6.最初と最後の頁
3.雑誌名	
3.雑誌名 日本音響学会講演論文集	62
日本音響学会講演論文集	62
日本音響学会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	62 査読の有無
日本音響学会講演論文集	62
日本音響学会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	62 査読の有無 無
日本音響学会講演論文集 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	62 査読の有無

	<del>-</del>
1.著者名	4 . 巻
土井公一朗,荻野利基,大塚翔,中川誠司	-
2 . 論文標題	5.発行年
遠位呈示された骨導超音波の体内伝搬過程の検討・振幅変調音呈示時の復調特性・	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会講演論文集	459-460
日午日日于乙時次晌入禾	400 400
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	-
2 . 論文標題	5 . 発行年
Estimation on the influence of placement on bone conduction transmission by ear-canal sound pressure	2018年
. 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the Symposium on Universal Acoustic Communication 2018	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
. ***	T 4 24
1 . 著者名 Nakagawa S, Doi K, Ogino R, Otsuka S	4.巻 39
2 . 論文標題	5.発行年
Propagation characteristics of amplitude-modulated bone-conducted ultrasounds distantly	2018年
presented to the neck, trunk and arms	6 早知 ト 早後 の 百
3.雑誌名 Proceedings of the Symposium on Ultrasonic Electronics	6.最初と最後の頁 1P5-6:1-2
Troceedings of the symposium on officesome Electronics	11 3-0.1-2
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Ogino R, Otsuka S, Nakagawa S	39
2 . 論文標題	5 . 発行年
Measurements of vibration in the external auditory meatus caused by distantly presented bone conducted ultrasounds.	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the Symposium on Ultrasonic Electronics	1P5-5:1-2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	│ │ 査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1.著者名	4 . 巻
│ 大西章也,中川誠司	-
2.論文標題	5 . 発行年
と、調べるはなと	2019年
個次人ガン特徴併を用いた  次目の観別	20194
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会講演論文集	547-598
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
	- · · ·
Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa	-
2 . 論文標題	5 . 発行年
Effects of bone-conducted vibrator placement on ear-canal sound pressure	2018年
	· · ·
3.雑誌名	6 是却と星後の百
	6.最初と最後の頁
日本音響学会講演論文集	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
40	<del></del>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	4 . 巻
l 1	
1.著者名	_
1.著者名   荻野利基,大塚翔, 中川誠司	- -
荻野利基,大塚翔, 中川誠司	-
	_
荻野利基,大塚翔, 中川誠司 2. 論文標題	5 . 発行年
荻野利基,大塚翔 , 中川誠司 2 . 論文標題 遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 で呈示された骨導超音波 -	-
荻野利基,大塚翔 , 中川誠司   2 . 論文標題   遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 - 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および	5 . 発行年
荻野利基,大塚翔 ,中川誠司   2 . 論文標題   遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 - 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズム	5 . 発行年
荻野利基,大塚翔 , 中川誠司   2 . 論文標題   遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 - 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および	5 . 発行年
荻野利基,大塚翔, 中川誠司   2 . 論文標題   遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 - 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性およの検討 -	- 5.発行年 2018年
荻野利基,大塚翔 ,中川誠司   2 . 論文標題   遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 - 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズム	5 . 発行年
荻野利基,大塚翔, 中川誠司   2 . 論文標題   遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 - 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性およの検討 -	- 5.発行年 2018年
荻野利基,大塚翔, 中川誠司     ② . 論文標題     遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 ・     基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 -     ③ . 雑誌名	- 5.発行年 2018年
荻野利基,大塚翔, 中川誠司     ② . 論文標題     遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 ・     基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 -     ③ . 雑誌名	- 5.発行年 2018年
荻野利基,大塚翔, 中川誠司     2 . 論文標題     遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 ・     基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 -     3 . 雑誌名     第3回千葉大学グローバルプロミネント研究基幹シンポジウム資料	- 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 -
荻野利基,大塚翔, 中川誠司     ② . 論文標題     遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 - 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 - 3 . 雑誌名     第3回千葉大学グローバルプロミネント研究基幹シンポジウム資料     掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
荻野利基,大塚翔, 中川誠司     2 . 論文標題     遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 ・     基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 -     3 . 雑誌名     第3回千葉大学グローバルプロミネント研究基幹シンポジウム資料	- 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 -
荻野利基 , 大塚翔 , 中川誠司   2 . 論文標題   遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 - 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 - 3 . 雑誌名   第3回千葉大学グローバルプロミネント研究基幹シンポジウム資料   掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	- 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
荻野利基,大塚翔,中川誠司   2.論文標題   遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 - 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 - 3.雑誌名   第3回千葉大学グローバルプロミネント研究基幹シンポジウム資料   掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし   オープンアクセス	- 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
荻野利基,大塚翔,中川誠司   2.論文標題   遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 - 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 - 3.雑誌名   第3回千葉大学グローバルプロミネント研究基幹シンポジウム資料   掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	- 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
荻野利基,大塚翔, 中川誠司     ② . 論文標題     遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 - 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 - 3 . 雑誌名     第3回千葉大学グローバルプロミネント研究基幹シンポジウム資料     掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)     なし     オープンアクセス	- 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
荻野利基,大塚翔,中川誠司     ②・論文標題     遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 - 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 - 3 . 雑誌名     第3回千葉大学グローバルプロミネント研究基幹シンポジウム資料     掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし     オープンアクセス     オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
荻野利基,大塚翔,中川誠司     ②・論文標題     遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 ・     基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 -     ③・雑誌名     第3回千葉大学グローバルプロミネント研究基幹シンポジウム資料     掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)     なし     オープンアクセス     オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
荻野利基,大塚翔,中川誠司     ②・論文標題     遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 - 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 - 3 . 雑誌名     第3回千葉大学グローバルプロミネント研究基幹シンポジウム資料     掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし     オープンアクセス     オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 無 国際共著
荻野利基,大塚翔, 中川誠司     ② . 論文標題 遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 ・基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 ・	- 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻
荻野利基 , 大塚翔 , 中川誠司     ② . 論文標題     遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 ・     基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 -     ③ . 雑誌名     第3回千葉大学グローバルプロミネント研究基幹シンポジウム資料     掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)     なし     オープンアクセス     オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
荻野利基,大塚翔, 中川誠司   2 . 論文標題 遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 しまでまたでででででででででででででででででででででででででででででででででで	- S . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 -
荻野利基,大塚翔, 中川誠司     ② . 論文標題 遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 ・基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 ・	- 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻
変野利基,大塚翔, 中川誠司         2 . 論文標題         遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 ・ 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 -         3 . 雑誌名         第3回千葉大学グローパルプロミネント研究基幹シンポジウム資料	
変野利基 , 大塚翔 , 中川誠司      え 論文標題     遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 ・基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 -      3 . 雑誌名     第3回千葉大学グローパルプロミネント研究基幹シンポジウム資料      掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難      1 . 著者名     Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題     The influence of placement on bone conduction (BC) transmission  3 . 雑誌名	- S . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 -
変野利基,大塚翔, 中川誠司         2 . 論文標題         遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 ・ 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 -         3 . 雑誌名         第3回千葉大学グローパルプロミネント研究基幹シンポジウム資料	
表野利基,大塚翔, 中川誠司  2 . 論文標題 遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 ・ 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 ・  3 . 雑誌名 第3回千葉大学グローパルプロミネント研究基幹シンボジウム資料  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 The influence of placement on bone conduction (BC) transmission  3 . 雑誌名 第3回千葉大学グローパルプロミネント研究基幹シンボジウム資料	
表野利基,大塚翔, 中川誠司  2 . 論文標題 遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 ・ 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 ・  3 . 雑誌名 第3回千葉大学グローパルプロミネント研究基幹シンボジウム資料  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 The influence of placement on bone conduction (BC) transmission  3 . 雑誌名 第3回千葉大学グローパルプロミネント研究基幹シンボジウム資料	
表野利基,大塚翔, 中川誠司  2 . 論文標題 遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 で呈示された骨導超音波 で最近知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討・  3 . 雑誌名 第3回千葉大学グローパルプロミネント研究基幹シンポジウム資料  1 . 著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 The influence of placement on bone conduction (BC) transmission  3 . 雑誌名 第3回千葉大学グローパルプロミネント研究基幹シンポジウム資料	
表野利基,大塚翔, 中川誠司  2 . 論文標題 遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 ・ 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 ・  3 . 雑誌名 第3回千葉大学グローパルプロミネント研究基幹シンボジウム資料  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 The influence of placement on bone conduction (BC) transmission  3 . 雑誌名 第3回千葉大学グローパルプロミネント研究基幹シンボジウム資料	
表野利基,大塚翔,中川誠司  2 . 論文標題 遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 小基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 ・  3 . 雑誌名 第3回千葉大学グローバルプロミネント研究基幹シンボジウム資料  1 . 著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 The influence of placement on bone conduction (BC) transmission  3 . 雑誌名 第3回千葉大学グローバルプロミネント研究基幹シンボジウム資料	
2. 論文標題         遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位星示された骨導超音波 ・ 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 オープンアクセスを記録を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を	
表野利基,大塚翔,中川誠司  2 . 論文標題 遠位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 位呈示された骨導超音波 小基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討 -  3 . 雑誌名 第3回千葉大学グローバルプロミネント研究基幹シンポジウム資料  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし  1 . 著者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa  2 . 論文標題 The influence of placement on bone conduction (BC) transmission  3 . 雑誌名 第3回千葉大学グローパルプロミネント研究基幹シンポジウム資料	

	1
1 . 著者名 Yap Gaik Sean , 大塚翔 , 中川誠司	4.巻
2 . 論文標題 生理計測及び心理物理計測による軟骨伝導の知覚特性の評価	5.発行年 2018年
3.雑誌名 第3回千葉大学グローバルプロミネント研究基幹シンポジウム資料	6 . 最初と最後の頁 24
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 Gaik Sean Yap,大塚翔, 中川誠司	4 . 巻
2 . 論文標題 軟骨伝導による単音節明瞭度特性	5.発行年 2018年
3.雑誌名 日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2018抄録集	6.最初と最後の頁 12
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 実川徹,大塚翔,中川誠司	4 . 巻
2 . 論文標題 軟骨伝導の呈示位置における知覚特性の変化	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2018抄録集	6.最初と最後の頁 35
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	   査読の有無   無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 中前美祐,柴玲子,ヤップゲックシエン,大塚明日香,大塚翔,湯本真人,中川誠司	4 . 巻
2. 論文標題 調性感覚を引き起こす音列によるミスマッチ反応の計測	5 . 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2018抄録集	6.最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

	1
1.著者名	4.巻
中嶋春葵,大塚翔,神谷勝,中川誠司	-
2 . 論文標題	5.発行年
空調音の主観的好ましさを決定するパラメータの検討&160;	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2018抄録集	29
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	4 . 巻
長内涼,大塚翔,中川誠司	
[文737557 , 大學表別 , 千川即6P]	
2 . 論文標題	5.発行年
競合音存在下での聴取能力とワーキングメモリ容量との関係	2018年
2 ht÷t 47	C Bin LBW AT
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2018抄録集	19
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
3 フンノノとハとはない、人は3 フンノノとハル山泉	
1 . 著者名	4 . 巻
土井公一朗,荻野利基,大塚翔,中川誠司	-
2.論文標題	F 25/2/F
	5.発行年
遠位呈示されたAM骨導超音波の体内伝搬過程による復調特性の検討	2018年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2018抄録集	14
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
物型は開文のDOT (デンタルオフジェクトinkが) デンなし	直読の有無   無
'& U	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	4.巻
	4 . 仓
良知壮太郎,大塚翔,中川誠司	·
2 . 論文標題	5.発行年
	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2018抄録集	15
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	   査読の有無
なし	無
·\$ U	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1.著者名 鈴木裕登,大塚翔,中川誠司	4.巻
2 . 論文標題 覚醒度の変動がオリーブ蝸牛束反射に与える影響	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2018抄録集	6.最初と最後の頁 27
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 荻野利基,土井公一朗,大塚翔,中川誠司	4.巻
2 . 論文標題 身体表面振動の計測による遠位呈示骨導超音波の伝播特性の検討	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 日本音響学会講演論文集	6.最初と最後の頁 -
   掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)   なし	   査読の有無   無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Yap Gaik Sean , 大塚翔 , 中川誠司	4.巻
2 . 論文標題 聴覚伝音系における伝搬メカニズムを考慮した軟骨伝導の検出闘特性の推定	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 日本音響学会講演論文集	6.最初と最後の頁 138
   掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)   なし	   査読の有無   無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 実川徹,大塚翔,中川誠司	4.巻
2.論文標題 耳介における呈示部位が軟骨伝導知覚に与える影響の検討	5.発行年 2019年
3.雑誌名 日本音響学会講演論文集	6.最初と最後の頁 521-522
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	   査読の有無   無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1 520	1 <del>**</del>
	4 . 巻
中前美祐,柴玲子,Yap Gaik Sean,大塚明日香,大塚翔,湯本真人,中川誠司	-
2.論文標題	5.発行年
音階構造の異なる音列に対するミスマッチ反応の計測	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会講演論文集	142
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
なし	<b>無</b>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国际共有
オープファクセスではない、又はオープファクセスが困難	-
4 英北存	
1 . 著者名	4 . 巻
長内涼,大塚翔,中川誠司	-
2 <u> </u>	F 36/- F
	5.発行年
競合音存在下での聴取能力とワーキングメモリ容量との関係	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会講演論文集	525-526
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
土井公一朗,荻野利基,大塚翔,中川誠司	-
2.論文標題	5.発行年
遠位呈示AM骨導超音波の体内伝搬過程による復調特性の検討	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会講演論文集	519-520
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	****
オープンアクセス	国際共著
	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	国際共著 - 4 . 巻 -
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 中嶋春葵 , 大塚翔 , 神谷勝 , 中川誠司	4.巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 中嶋春葵 , 大塚翔 , 神谷勝 , 中川誠司  2 . 論文標題	- 4.巻 - 5.発行年
1 . 著者名	4.巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 中嶋春葵,大塚翔,神谷勝,中川誠司  2 . 論文標題 HVAC音の主観的好ましさに寄与する音響パラメータの検討	- 4.巻 - 5.発行年 2019年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 中嶋春葵 , 大塚翔 , 神谷勝 , 中川誠司  2 . 論文標題 HVAC音の主観的好ましさに寄与する音響パラメータの検討  3 . 雑誌名	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 中嶋春葵 , 大塚翔 , 神谷勝 , 中川誠司  2 . 論文標題 HVAC音の主観的好ましさに寄与する音響パラメータの検討	- 4.巻 - 5.発行年 2019年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 中嶋春葵 , 大塚翔 , 神谷勝 , 中川誠司  2 . 論文標題 HVAC音の主観的好ましさに寄与する音響パラメータの検討  3 . 雑誌名	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 中嶋春葵 , 大塚翔 , 神谷勝 , 中川誠司  2 . 論文標題 HVAC音の主観的好ましさに寄与する音響パラメータの検討  3 . 雑誌名 日本音響学会講演論文集	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 561-562
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 中嶋春葵 , 大塚翔 , 神谷勝 , 中川誠司  2 . 論文標題 HVAC音の主観的好ましさに寄与する音響パラメータの検討  3 . 雑誌名 日本音響学会講演論文集  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 561-562
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 中嶋春葵 , 大塚翔 , 神谷勝 , 中川誠司  2 . 論文標題 HVAC音の主観的好ましさに寄与する音響パラメータの検討  3 . 雑誌名 日本音響学会講演論文集	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 561-562
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 中嶋春葵 , 大塚翔 , 神谷勝 , 中川誠司  2 . 論文標題 HVAC音の主観的好ましさに寄与する音響パラメータの検討  3 . 雑誌名 日本音響学会講演論文集  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 561-562 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 中嶋春葵 , 大塚翔 , 神谷勝 , 中川誠司  2 . 論文標題 HVAC音の主観的好ましさに寄与する音響パラメータの検討  3 . 雑誌名 日本音響学会講演論文集	- 4 . 巻 - 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 561-562

1 . 著者名	4 . 巻
良知壮太郎,大塚翔,中川誠司	-
2.論文標題	5 . 発行年
·····	1 - 1,- 1
感音性難聴者におけるオリーブ蝸牛束反射の諸特性	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会講演論文集	539-540
	000 010
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
) · 看有有 鈴木裕登,大塚翔,中川誠司	4 · 상   ·
<b>封</b> 个恰豆, <b>入</b> 场刑,中川 <b></b> 则	_
2 . 論文標題	5 . 発行年
覚醒度とオリーブ蝸牛束反射強度との関係	2019年
Commission of the Commission o	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本音響学会講演論文集	537-538
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国际共有
カープンテクセスとはない、人はカープンテクセスが四無	
	4 . 巻
Yap Gaik Sean,大塚翔,湯本真人, 中川誠司	-
14p 34 11 3341 7 (-303) 7 (20 7 55) ( 7 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
2. 論文標題	5.発行年
脳磁界計測および心理物理計測による軟骨伝導知覚特性の客観評価	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
第21回日本ヒト脳機能マッピング学会講演抄録集	101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
物車Xim 又のDOT (プラグルオフシェッド画が)ナー) なし	重読の行無
74 O	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	<u> </u>
1 . 著者名	4.巻
中前美祐,柴玲子,Yap Gaik Sean,大塚明香,大塚翔,湯本真人,中川誠司	-
·	
2.論文標題	5 . 発行年
様々な調性感覚を引き起こす音列に対する誘発脳磁界の計測	2019年
2 14:4-47	C 840 1 876 5 7
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
第21回日本ヒト脳機能マッピング学会講演抄録集	100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
なし	無
	<del>////</del>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1 . 著者名	4 . 巻
Ogino R, Otsuka S, Nakagawa S	58
2. 論文標題 Measurements of vibration in the external auditory meatus caused by distantly presented bone- conducted ultrasonic hearing	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無   有
オーブンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
	1
1 . 著者名 Okayasu Tadao、Nishimura Tadashi、Uratani Yuka、Yamashita Akinori、Nakagawa Seiji、Yamanaka Toshiaki、Hosoi Hiroshi、Kitahara Tadashi	4.巻 696
2.論文標題 Temporal window of integration estimated by omission in bone-conducted ultrasound	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Neuroscience Letters	6.最初と最後の頁 1~6
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1016/j.neulet.2018.11.035	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 \$247	4 . 巻
1 . 著者名 Onishi Akinari, Nakagawa Seiji	4 · 살 13
2 . 論文標題 How Does the Degree of Valence Influence Affective Auditory P300-Based BCls?	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6.最初と最後の頁 45:1-8
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.3389/fnins.2019.00045	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 岡本洋輔,神谷 勝,中川誠司	4.巻 21(2)
2 . 論文標題 色によるエアコン動作状況表示が温冷感推移に及ぼす影響	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 日本インターフェース学会誌	6.最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	   査読の有無   有
オーブンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1 . 著者名 Nakagawa S, Ogino R, Otsuka S	4.巻 40
2. 論文標題 Assessments of basic properties of distal-presented bone-conducted ultrasonic hearing	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Proceedings of the International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	6.最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 Nakagawa S	4 . 巻 -
2.論文標題 Assessment of temporal resolution of bone-conducted ultrasonic hearing using neuromagnetic measurements	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Proceedings of the Symposium on Universal Acoustic Communication 2018	6.最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 Nakagawa S	<b>4</b> .巻 40
2.論文標題 Mechanisms of Bone-conducted Ultrasonic Perception Assessed by Measurements of Acoustic Fields in the Outer Ear Canal and Vibrations of the Tympanic Membrane	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Proceedings of the International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	6.最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
〔学会発表〕 計101件(うち招待講演 13件/うち国際学会 25件) 1 発表者名	

# 1.発表者名

Nakagawa S

# 2 . 発表標題

Measurements of cortical activities evoked by air- and bone-conducted sounds with frequency variations in an audible to ultrasonic range

# 3 . 学会等名

Biomagnetic Sendai 2017 (招待講演) (国際学会)

# 4.発表年

1.発表者名
Nakagawa S, Ogino R, Otsuka S
2 . 発表標題
Assessment of basic properties of bone-conducted ultrasound perception presented to distant location
3.学会等名
The New Zealand/Japan Joint Research Meeting on Psychological & Physiological Acoustics and Electroacoustics(招待講演)(国
際学会)
<u> </u>
2017年
No. 10 Personal Control of Contro
1.発表者名
中川誠司
2 . 発表標題
脳機能データを用いたサウンドデザインの試み
3 . 学会等名
SSDS/JMAC技術講演会(招待講演)
0000/0m(N/X[M/前海)及 ( )口10時/R /
4 . 発表年
2017年
1.発表者名
中川誠司,保手浜拓也,神谷勝
2 . 発表標題
生理心理指標を用いたサウンドデザイン
1-1-0-131 M. C. 150 1-0-0-1-0-0-1-0-0-1-0-0-1-0-1-0-1-0-1-
3.学会等名
持続性木質資源工業技術研究会(招待講演)
A SEET
4 . 発表年
2017年
1.発表者名
中川誠司
2.発表標題
ヒトを対象とした非侵襲計測による骨導知覚メカニズムの解明
C. CONCOCERACIONICO CEGARZO O CONSTITUI
3.学会等名
日本音響学会2018年春季研究発表会(招待講演)
A TV-E-T
4. 発表年
2018年

#### 1.発表者名

Otsuka S, Nakagawa S, Furukawa S

# 2 . 発表標題

Factors affecting medial olivocochlear reflex and their implications for its role as a protection mechanism from noise-induced hearing loss

#### 3.学会等名

The New Zealand/Japan Joint Research Meeting on Psychological & Physiological Acoustics and Electroacoustics, Auckland (招待講演) (国際学会)

#### 4.発表年

2017年

### 1.発表者名

Nakagawa S, Hotehama T, Ito K

#### 2.発表標題

Assessment of auditory impression of the coolness and warmness of automotive HVAC noise

#### 3. 学会等名

The 39th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society(国際学会)

## 4.発表年

2017年

#### 1.発表者名

Yano H, Takiguchi T, Ariki Y, Kamiya M, Nakagawa S

#### 2.発表標題

Extraction of Brain Cortical Activities Related to Auditory Impressions Induced by HVAC Sound Using Nonnegative Tensor Factorization

## 3 . 学会等名

The 39th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society(国際学会)

### 4.発表年

2017年

## 1.発表者名

Tatsukami, S, Ishimitsu S, Soeta Y, Nakagawa S

#### 2 . 発表標題

Development of Bone-conduction Mobile Phones: Assessment of Hearing Mechanisms by Measuring Psychological Characteristics and Acoustical Properties in the Outer Ear Canal

## 3 . 学会等名

The 12th International Conference on Innovative Computing(国際学会)

# 4.発表年

2. 税表模器 Psychoacoustical assessment of impression of the coolness and warmness of automotive HVAC noise  3. 字会等名 The 48th international congress and exposition on noise control engineering (国際学会)  4. 鬼表年 2017年  1. 鬼表有名 Nakagama S  2. 兒表模器 Assessment of basic properties of bone-conducted ultrasound perception presented to distant location  3. 学会等名 The 38th Symposium on Ultrasonic Electronics (国際学会)  4. 鬼表年 2017年  1. 鬼表者名 OKayasu T, Nishimura T, Uratani Y, Yamashita A, Nakagama S, Hosoi H, Kitahara T  2. 是表框器 The window of tempral integration for bone-conducted ultrasound  3. 学会等名 Association for Research in Otolayngology the 41th Annual Widfinter Meeting (国際学会)  4. 患表者名 Askagama S  2. 是表框器 Coolness and warmness of automotive HVAC noise: Assessment of auditory impression by psychoacoustical tests  3. 子会等名 日本生体医工学会大会	1.発表者名 Nakagawa S
Psychoacoustical assessment of Impression of the coolness and warmness of autonotive HVAC noise  3 . 字会夸名 The 46th international congress and exposition on noise control engineering (国際字会)  4 . 爰表存 2017年  1 . 录表有名 Nakagawa S  2 . 爰表標題 Assessment of basic properties of bone-conducted ultrasound perception presented to distant location  3 . 字会夸名 The 38th Symposium on Ultrasonic Electronics (国際学会)  4 . 爰表有 2017年  1 . 免表有名 Cheayasu T. Nishimura T. Uratani Y. Yamashita A. Nakagawa S. Hosoi H. Kitahara T  2 . 爰表標題 The sindow of tempral integration for bone-conducted ultrasound  3 . 字会夸名 Association for Research in Otolayngology the 41th Annual Mid@inter Meeting (国際学会)  4 . 爰表存 2016年  1 . 兒表有包 Coolness and warmness of autonotive HVAC noise: Assessment of auditory impression by psychoacoustical tests  3 . 字会夸名 日本生体医工学会大会	······································
Psychoacoustical assessment of Impression of the coolness and warmness of autonotive HVAC noise  3 . 字会夸名 The 46th international congress and exposition on noise control engineering (国際字会)  4 . 爰表存 2017年  1 . 录表有名 Nakagawa S  2 . 爰表標題 Assessment of basic properties of bone-conducted ultrasound perception presented to distant location  3 . 字会夸名 The 38th Symposium on Ultrasonic Electronics (国際学会)  4 . 爰表有 2017年  1 . 免表有名 Cheayasu T. Nishimura T. Uratani Y. Yamashita A. Nakagawa S. Hosoi H. Kitahara T  2 . 爰表標題 The sindow of tempral integration for bone-conducted ultrasound  3 . 字会夸名 Association for Research in Otolayngology the 41th Annual Mid@inter Meeting (国際学会)  4 . 爰表存 2016年  1 . 兒表有包 Coolness and warmness of autonotive HVAC noise: Assessment of auditory impression by psychoacoustical tests  3 . 字会夸名 日本生体医工学会大会	고 장후····································
The 46th international congress and exposition on noise control engineering (国際字会)  4. 発表年 2017年  1. 杂表者名 Nakagawa S  2. 杂表楼題 Assessment of basic properties of bone-conducted ultrasound perception presented to distant location  3. 字会等名 The 38th Symposium on Ultrasonic Electronics (国際学会)  4. 杂表者 Okayasu T, Nishimura T, Uratani Y, Yamashita A, Nakagawa S, Hosoi H, Kitahara T  2. 杂表標題 The window of tempral integration for bone-conducted ultrasound  3. 字会等名 Association for Research in Otolayngology the 41th Annual MidWinter Meeting (国際学会)  4. 杂表年 2018年  1. 杂表者名 Nakagawa S  2. 杂表模題 Coolness and warmness of automotive HVAC noise: Assessment of auditory impression by psychoacoustical tests  3. 字会等名 Dasset和 Nakagawa S	
The 46th international congress and exposition on noise control engineering (国際字会)  4. 発表年 2017年  1. 杂表者名 Nakagawa S  2. 杂表楼題 Assessment of basic properties of bone-conducted ultrasound perception presented to distant location  3. 字会等名 The 38th Symposium on Ultrasonic Electronics (国際学会)  4. 杂表者 Okayasu T, Nishimura T, Uratani Y, Yamashita A, Nakagawa S, Hosoi H, Kitahara T  2. 杂表標題 The window of tempral integration for bone-conducted ultrasound  3. 字会等名 Association for Research in Otolayngology the 41th Annual MidWinter Meeting (国際学会)  4. 杂表年 2018年  1. 杂表者名 Nakagawa S  2. 杂表模題 Coolness and warmness of automotive HVAC noise: Assessment of auditory impression by psychoacoustical tests  3. 字会等名 Dasset和 Nakagawa S	
1 . 発表者名 Nakagawa S  2 . 発表標題 Assessment of basic properties of bone-conducted ultrasound perception presented to distant location  3 . 学会等名 The 38th Symposium on Ultrasonic Electronics (国際学会)  4 . 発表年 2017年  1 . 発表者名 Okayasu T, Nishimura T, Uratani Y, Yamashita A, Nakagawa S, Hosoi H, Kitahara T  2 . 発表標題 The window of tempral integration for bone-conducted ultrasound  3 . 学会等名 Association for Research in Otolayngology the 41th Annual MidWinter Meeting (国際学会)  4 . 発表有 2018年  1 . 発表者名 Nakagawa S  2 . 発表標題 Coolness and warmness of automotive HVAC noise: Assessment of auditory impression by psychoacoustical tests  3 . 学会等名 日本生体医工学会大会	
1. 発表者名 Nakagawa S 2. 発表標題 Assessment of basic properties of bone-conducted ultrasound perception presented to distant location 3. 学会等名 The 38th Symposium on Ultrasonic Electronics (国際学会) 4. 発表存 2017年 1. 発表者名 Okayasu T, Nishimura T, Uratani Y, Yamashita A, Nakagawa S, Hosoi H, Kitahara T 2. 発表標題 The window of tempral integration for bone-conducted ultrasound 3. 学会等名 Association for Research in Otolayngology the 41th Annual MidWinter Meeting (国際学会) 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 Nakagawa S 2. 光表標題 Coolness and warmness of automotive HVAC noise: Assessment of auditory impression by psychoacoustical tests 3. 学会等名 日本生体医工学会大会	
Nakagawa S  2 . 発表標題 Assessment of basic properties of bone-conducted ultrasound perception presented to distant location  3 . 学会等名 The 38th Symposium on Ultrasonic Electronics (国際学会)  4 . 発表年 2017年  1 . 発表者名 Okayasu T, Nishimura T, Uratani Y, Yamashita A, Nakagawa S, Hosoi H, Kitahara T  2 . 発表標題 The window of tempral integration for bone-conducted ultrasound  3 . 学会等名 Association for Research in Otolayngology the 41th Annual MidWinter Meeting (国際学会)  4 . 発表年 2018年  1 . 発表者名 Nakagawa S  2 . 発表標題 Coolness and warmness of automotive HVAC noise: Assessment of auditory impression by psychoacoustical tests  3 . 学会等名 日本生体医工学会大会	2017年
Assessment of basic properties of bone-conducted ultrasound perception presented to distant location  3 . 学会等名 The 38th Symposium on Ultrasonic Electronics (国際学会)  4 . 発表年 2017年  1 . 発表者名 Okayasu T, Nishimura T, Uratani Y, Yamashita A, Nakagawa S, Hosoi H, Kitahara T  2 . 発表標題 The window of tempral integration for bone-conducted ultrasound  3 . 学会等名 Association for Research in Otolayngology the 41th Annual MidWinter Meeting (国際学会)  4 . 発表年 2018年  1 . 発表者名 Nakagawa S  2 . 発表構題 Coolness and warmness of automotive HVAC noise: Assessment of auditory impression by psychoacoustical tests  3 . 学会等名 日本生体医工学会大会	
Assessment of basic properties of bone-conducted ultrasound perception presented to distant location  3 . 学会等名 The 38th Symposium on Ultrasonic Electronics (国際学会)  4 . 発表年 2017年  1 . 発表者名 Okayasu T, Nishimura T, Uratani Y, Yamashita A, Nakagawa S, Hosoi H, Kitahara T  2 . 発表標題 The window of tempral integration for bone-conducted ultrasound  3 . 学会等名 Association for Research in Otolayngology the 41th Annual MidWinter Meeting (国際学会)  4 . 発表年 2018年  1 . 発表者名 Nakagawa S  2 . 発表構題 Coolness and warmness of automotive HVAC noise: Assessment of auditory impression by psychoacoustical tests  3 . 学会等名 日本生体医工学会大会	
The 38th Symposium on Ultrasonic Electronics (国際学会)  4 . 発表年 2017年  1 . 発表者名 Okayasu T, Nishimura T, Uratani Y, Yamashita A, Nakagawa S, Hosoi H, Kitahara T  2 . 発表標題 The window of tempral integration for bone-conducted ultrasound  3 . 学会等名 Association for Research in Otolayngology the 41th Annual MidWinter Meeting (国際学会)  4 . 発表年 2018年  1 . 発表者名 Nakagawa S  2 . 発表構題 Coolness and warmness of automotive HVAC noise: Assessment of auditory impression by psychoacoustical tests  3 . 学会等名 日本生体医工学会大会	
The 38th Symposium on Ultrasonic Electronics (国際学会)  4 . 発表年 2017年  1 . 発表者名 Okayasu T, Nishimura T, Uratani Y, Yamashita A, Nakagawa S, Hosoi H, Kitahara T  2 . 発表標題 The window of tempral integration for bone-conducted ultrasound  3 . 学会等名 Association for Research in Otolayngology the 41th Annual MidWinter Meeting (国際学会)  4 . 発表年 2018年  1 . 発表者名 Nakagawa S  2 . 発表構題 Coolness and warmness of automotive HVAC noise: Assessment of auditory impression by psychoacoustical tests  3 . 学会等名 日本生体医工学会大会	2
1. 発表者名 Okayasu T, Nishimura T, Uratani Y, Yamashita A, Nakagawa S, Hosoi H, Kitahara T  2. 発表標題 The window of tempral integration for bone-conducted ultrasound  3. 学会等名 Association for Research in Otolayngology the 41th Annual MidWinter Meeting (国際学会)  4. 発表年 2018年  1. 発表者名 Nakagawa S  2. 発表標題 Coolness and warmness of automotive HVAC noise: Assessment of auditory impression by psychoacoustical tests  3. 学会等名 日本生体医工学会大会	
1. 発表者名 Okayasu T, Nishimura T, Uratani Y, Yamashita A, Nakagawa S, Hosoi H, Kitahara T  2. 発表標題 The window of tempral integration for bone-conducted ultrasound  3. 学会等名 Association for Research in Otolayngology the 41th Annual MidWinter Meeting (国際学会)  4. 発表年 2018年  1. 発表者名 Nakagawa S  2. 発表標題 Coolness and warmness of automotive HVAC noise: Assessment of auditory impression by psychoacoustical tests  3. 学会等名 日本生体医工学会大会	
Okayasu T, Nishimura T, Uratani Y, Yamashita A, Nakagawa S, Hosoi H, Kitahara T  2 . 発表標題 The window of tempral integration for bone-conducted ultrasound  3 . 学会等名 Association for Research in Otolayngology the 41th Annual MidWinter Meeting (国際学会)  4 . 発表年 2018年  1 . 発表者名 Nakagawa S  2 . 発表標題 Coolness and warmness of automotive HVAC noise: Assessment of auditory impression by psychoacoustical tests  3 . 学会等名 日本生体医工学会大会	2017年
Okayasu T, Nishimura T, Uratani Y, Yamashita A, Nakagawa S, Hosoi H, Kitahara T  2 . 発表標題 The window of tempral integration for bone-conducted ultrasound  3 . 学会等名 Association for Research in Otolayngology the 41th Annual MidWinter Meeting (国際学会)  4 . 発表年 2018年  1 . 発表者名 Nakagawa S  2 . 発表標題 Coolness and warmness of automotive HVAC noise: Assessment of auditory impression by psychoacoustical tests  3 . 学会等名 日本生体医工学会大会	1.発表者名
The window of tempral integration for bone-conducted ultrasound  3 . 学会等名 Association for Research in Otolayngology the 41th Annual MidWinter Meeting (国際学会)  4 . 発表年 2018年  1 . 発表者名 Nakagawa S  2 . 発表標題 Coolness and warmness of automotive HVAC noise: Assessment of auditory impression by psychoacoustical tests  3 . 学会等名 日本生体医工学会大会	Okayasu T, Nishimura T, Uratani Y, Yamashita A, Nakagawa S, Hosoi H, Kitahara T
3 . 学会等名 Association for Research in Otolayngology the 41th Annual MidWinter Meeting (国際学会)  4 . 発表年 2018年  1 . 発表者名 Nakagawa S  2 . 発表標題 Coolness and warmness of automotive HVAC noise: Assessment of auditory impression by psychoacoustical tests  3 . 学会等名 日本生体医工学会大会	
Association for Research in Otolayngology the 41th Annual MidWinter Meeting (国際学会)  4 . 発表年 2018年  1 . 発表者名 Nakagawa S  2 . 発表標題 Coolness and warmness of automotive HVAC noise: Assessment of auditory impression by psychoacoustical tests  3 . 学会等名 日本生体医工学会大会	
Association for Research in Otolayngology the 41th Annual MidWinter Meeting (国際学会)  4 . 発表年 2018年  1 . 発表者名 Nakagawa S  2 . 発表標題 Coolness and warmness of automotive HVAC noise: Assessment of auditory impression by psychoacoustical tests  3 . 学会等名 日本生体医工学会大会	3.学会等名
1 . 発表者名 Nakagawa S  2 . 発表標題 Coolness and warmness of automotive HVAC noise: Assessment of auditory impression by psychoacoustical tests  3 . 学会等名 日本生体医工学会大会	Association for Research in Otolayngology the 41th Annual MidWinter Meeting (国際学会)
Nakagawa S  2 . 発表標題 Coolness and warmness of automotive HVAC noise: Assessment of auditory impression by psychoacoustical tests  3 . 学会等名 日本生体医工学会大会	
Nakagawa S  2 . 発表標題 Coolness and warmness of automotive HVAC noise: Assessment of auditory impression by psychoacoustical tests  3 . 学会等名 日本生体医工学会大会	1
Coolness and warmness of automotive HVAC noise: Assessment of auditory impression by psychoacoustical tests  3.学会等名 日本生体医工学会大会	
Coolness and warmness of automotive HVAC noise: Assessment of auditory impression by psychoacoustical tests  3.学会等名 日本生体医工学会大会	
日本生体医工学会大会	
日本生体医工学会大会	
A	
2017年	4 . 発表年 2017年

1.発表者名 立神早季子,石光俊1,添田喜治,中川誠司
2.発表標題 *** *** *** *** *** *** *** *** *** *
能動騒音制御が騒音以外の音に対する聴感印象及び脳活動に及ぼす影響
3 . 学会等名 日本生体医工学会大会
4.発表年 2017年
1 . 発表者名 Yano H, Takiguchi T, Ariki Y, Kamiya M, Nakagawa S
2 . 発表標題 Evaluation of auditory impressions induced by HVAC sound using predictive mode
3.学会等名 日本生体医工学会大会
4.発表年 2017年
1.発表者名 矢野 肇,滝口哲也,有木康男,神谷 勝,中川誠司
2.発表標題 Discriminant Non-negative Tensor Factorizationを用いたエアコン音の印象関連脳活動の抽出
3 . 学会等名 電子情報通信学会/日本音響学会音声研究会
4.発表年 2017年
1.発表者名 宇澤志保美,滝口哲也,有木康男,中川誠司
2 . 発表標題 日本語音声想起に伴う脳磁界データの判別と特徴量推定
3 . 学会等名 電子情報通信学会/日本音響学会音声研究会
4 . 発表年 2017年

1.発表者名 宇澤志保美,滝口哲也,有木康男,添田喜治,中川誠司
2.発表標題 音想起に係る脳磁界反応の比較 等しいエンベロープをもつ音声と純音
3.学会等名 電子情報通信学会/日本音響学会音声研究会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 岡本洋輔,中川誠司
2 . 発表標題 高周波点滅光による眼疲労の脳磁界反応に基づく評価
3 . 学会等名 ヒューマンインターフェースシンポジウム2017
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 中川誠司
2.発表標題 ヒト知覚メカニズムの解明と福祉機器開発への応用
3 . 学会等名 第15回千葉大学医工学シンポジウム
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 中川誠司,大塚 翔,荻野利基,Yap Gaik Sean
2 . 発表標題 骨伝導メカニズムの解明に基づく福祉機器の開発
3 . 学会等名 第15回千葉大学医工学シンポジウム
4 . 発表年 2017年

1.発表者名 大塚 翔,中川誠司
2 . 発表標題 非侵襲的計測に基づく新たな診断手法とリスク評価手法の開発
3 . 学会等名 第15回千葉大学医工学シンポジウム
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 中川誠司,大西章也,大塚 翔
2 . 発表標題 心理・生理データを利用した快適な居住空間の構築
3 . 学会等名 第15回千葉大学医工学シンポジウム
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 中川誠司,荻野利基,ヤップ・ゲック・シエン,大塚 翔
2 . 発表標題 遠位呈示による骨導超音波知覚の基礎特性評価
3 . 学会等名 日本音響学会2017年秋季研究発表会
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 大塚翔,中川誠司,古川茂人
2 . 発表標題 先行する音がオリーブ蝸牛束反射に与える影響
3 . 学会等名 日本音響学会2017年秋季研究発表会
4 . 発表年 2017年

1.発表者名 矢野 肇,滝口哲也,有木康男,神谷 勝,中川誠司
2 . 発表標題 エアコン音の聴感印象推定のための比較判断を考慮した脳活動特徴量抽出
3 . 学会等名 日本音響学会2017年秋季研究発表会
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 宇澤志保美,滝口哲也,有木康男,中川誠司
2 . 発表標題 脳磁界データによる想起音声の識別-次元数削減による精度向上の検討
3 . 学会等名 日本音響学会2017年秋季研究発表会
4.発表年 2017年
1.発表者名 嵯峨直樹,矢野 肇,滝口哲也,有木康男,添田喜治,中川誠司
2.発表標題 音声明瞭度に関連した脳磁界計測 聴覚野および運動野における活動源解析
3 . 学会等名 日本音響学会2017年秋季研究発表会
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 立神早紀子,添田喜治,石光俊介,中川誠司
2.発表標題 能動騒音制御が楽音の聴感印象に及ぼす影響
3 . 学会等名 日本音響学会2017年秋季研究発表会
4 . 発表年 2017年

1.発表者名
大西章也,大塚 翔,中川誠司
2.発表標題
聴覚プレイン・マシン・インタフェースのための和音刺激に関する検討
日本音響学会2017年秋季研究発表会
2017年
1.発表者名
大塚翔,中川誠司,古川茂人
2 . 発表標題
2 . 光衣標題   耳音響放射を用いた隠れた難聴の聴覚末梢メカニズムの解明
3.学会等名 日本音響学会2018年春季研究発表会
4 . 発表年
2018年
2 . 発表標題 刺激音出現に対する予期がオリープ蝸牛束反射に与える影響
3 . 学会等名 日本音響学会2018年春季研究発表会
4.発表年 2018年
1.発表者名 矢野 肇,滝口哲也,有木康男,神谷 勝,中川誠司
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
2 . 発表標題 エアコン音の聴感印象推定のためのコヒーレンス解析に基づく脳活動特徴量抽出
エノコノロ∨®ぶい灸jtたV/CVVコモ レノヘ肝川に全ノ\M/n型/付は星jn山
3. 学会等名
日本音響学会2018年春季研究発表会
4. 発表年
2018年

1.発表者名 宇澤志保美,滝口哲也,有木康男,添田喜治,中川誠司
2 . 発表標題 音想起に伴う脳磁界反応:等しいエンベロープをもつ音声と純音の比較
3 . 学会等名 日本音響学会2018年春季研究発表会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 嵯峨直樹,矢野 肇,滝口哲也,有木康男,添田喜治,中川誠司
2 . 発表標題 音声明瞭度に関連した大脳皮質活動の時空間的遷移
3.学会等名 日本音響学会2018年春季研究発表会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 矢野沙緒里,滝口哲也,有木康男,添田喜治,中川誠司
2 . 発表標題 非負値行列因子分解を用いた脳磁界データから音声の復元
3 . 学会等名 日本音響学会2018年春季研究発表会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 立神早紀子,添田喜治,石光俊介,中川誠司
2 . 発表標題 能動騒音制御が聴覚誘発脳磁界N1mへ及ぼす影響- 注意条件/非注意条件の比較 -
3 . 学会等名 日本音響学会2018年春季研究発表会
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 ヤップ ゲック シエン , 大塚翔 , 湯本真人 , 中川誠司
2 . 発表標題 軟骨伝導知覚の時間分解能特性:ミスマッチ・フィールド計測による客観評価
3 . 学会等名 日本音響学会2018年春季研究発表会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 荻野利基,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 頸部・上肢に呈示された骨導超音波の基礎知覚特性-検出閾値および時間分解能の 検討-
3 . 学会等名 日本音響学会2018年春季研究発表会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 大西章也,中川誠司
2 . 発表標題 音の快・不快を示す新たな脳波指標に関する検討
3.学会等名 日本音響学会2018年春季研究発表会
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 ヤップ ゲック シエン , 大塚翔 , 湯本真人 , 中川誠司
2 . 発表標題 ミスマッチ・フィールド計測による難骨伝導知覚特性の客観評価
3 . 学会等名 日本生体医工学会2017年若手研究者発表会
4 . 発表年 2017年

1.発表者名
荻野利基,大塚翔,中川誠司
2.発表標題
頚部・上肢に呈示された骨導超音波の基礎知覚特性の検討
3.学会等名 日本生体医工学会2017年若手研究者発表会
4.発表年 2017年
Sho Otsuka, Seiji Nakaga, Shigeto Furukawa
2.発表標題
The relationship between characteristics of medial olivocochlear reflex and speech-in-noise-reception performance
3.学会等名
Tohoku Universal Acoustical Communication Month Sattelite Seminar(招待講演)(国際学会)
4.発表年 2018年
1.発表者名 大塚翔
2.発表標題
オリーブ蝸牛束反射の機能とその変動要因
3.学会等名
聴覚研究会(招待講演)
4 . 発表年
2018年
1 . 発表者名 大塚翔
7\~m/10
2 . 発表標題 脳幹機能評価と蝸牛遠心性制御
3.学会等名
3.字伝寺台 内耳ひずみ研究会(招待講演)
2018年

1. 発表者名
大塚翔
2 . 発表標題
耳音響放射を用いたオリープ蝸牛束の機能の評価
3. 学会等名
実社会におけるマルチモーダル脳情報応用技術研究会(招待講演)
4.発表年
2018年
1. 発表者名
中川誠司
2. 発表標題
心理・生理データに基づくサウンドデザイン
3. 学会等名
耳鼻咽喉科情報処理研究会(招待講演)
4. 発表年
2018年
1.発表者名
Seiji Nakagawa
oor ja hakagana
2. 発表標題
Assessment of temporal resolution of bone-conducted ultrasonic hearing using neuromagnetic measurements
3. 学会等名
Tohoku Universal Acoustical Communication Month(招待講演)(国際学会)
4.発表年
4 . 光表中 2018年
•
1 . 発表者名
Seiji Nakagawa
2 . 発表標題
Mechanisms of Bone-conducted Ultrasonic Perception Assessed by Measurements of Acoustic Fields in the Outer Ear Canal and
Vibrations of the Tympanic Membrane
3. 学会等名
The 39th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年
2018年

1.発表者名 Sho Otsuka, Seiji Nakagawa, Shigeto Furukawa
2. 発表標題 A Preceding Sound Expedites Medial Olivocochlear Reflex
3.学会等名 International Symposium on Hearing(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Nakagawa S, Doi K, Ogino R, Otsuka S
2. 発表標題 Propagation characteristics of amplitude-modulated bone-conducted ultrasounds distantly presented to the neck, trunk and arms
3.学会等名 The 39th Symposium on Ultrasonic Electronics (国際学会)
The 39th 3ymposium on ortrasonic Electronics (国际子会)
4 . 発表年 2018年
4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名
4 . 発表年 2018年
4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名
4. 発表年 2018年  1. 発表者名 Ogino R, Doi K, Otsuka S, Nakagawa S,  2. 発表標題 Measurements of vibration in the external auditory meatus caused by distantly presented bone conducted ultrasound  3. 学会等名 The 39th Symposium on Ultrasonic Electronics (国際学会)
4.発表年 2018年  1.発表者名 Ogino R, Doi K, Otsuka S, Nakagawa S,  2.発表標題 Measurements of vibration in the external auditory meatus caused by distantly presented bone conducted ultrasound  3.学会等名
4.発表年 2018年  1.発表者名 Ogino R, Doi K, Otsuka S, Nakagawa S,  2.発表標題 Measurements of vibration in the external auditory meatus caused by distantly presented bone conducted ultrasound  3.学会等名 The 39th Symposium on Ultrasonic Electronics (国際学会)  4.発表年

Estimation on the in wence of placement on bone conduction transmission by ear-canal sound pressure

Tohoku Universal Acoustical Communication Month (国際学会)

3 . 学会等名

4 . 発表年 2018年

1	<b> </b>

Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa

# 2 . 発表標題

An objective assessment of temporal resolution of cartilage-conduction hearing using neuromagnetic measurements

#### 3 . 学会等名

The 12th ICME International Conference on Complex Medical Engineering (CME 2018) (国際学会)

## 4.発表年

2018年

### 1.発表者名

Seiji Nakagawa, Asuka Otsuka, Atsuto Shukunami, Shunsuke Ishimitsu

### 2 . 発表標題

Estimation of uncomfortable level of sounds using neuromagnetic measurements

#### 3. 学会等名

The 12th ICME International Conference on Complex Medical Engineering (CME 2018) (国際学会)

## 4.発表年

2018年

#### 1.発表者名

Nakagawa S

#### 2 . 発表標題

Mechanisms of Bone-conducted Ultrasonic Perception Assessed by Measurements of Acoustic Fields in the Outer Ear Canal and Vibrations of the Tympanic Membrane

#### 3.学会等名

The 39th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society(国際学会)

### 4.発表年

2018年

## 1.発表者名

Ogino R, Otsuka S, Nakagawa S

#### 2 . 発表標題

Assessments of basic properties of distal-presented bone-conducted ultrasonic hearing

## 3 . 学会等名

The 39th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society(国際学会)

# 4.発表年

1	<b> </b>

Gaik Sean Yap, Sho Otsuka, Masato Yumoto, Seiji Nakagawa

# 2 . 発表標題

Objective Evaluation of Fundamental Perception Characteristics of Cartilage Conduction by Brain Magnetic Field Measurement

#### 3.学会等名

The 39th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society(国際学会)

## 4.発表年

2018年

### 1.発表者名

Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa

### 2 . 発表標題

Contribution of Placement in Bone-Conducted Transmission &8212; Comparison between Condyle and Mastoid

#### 3. 学会等名

The 39th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society(国際学会)

# 4 . 発表年

2018年

#### 1.発表者名

A. Onishi, S. Nakagawa

#### 2 . 発表標題

Ensemble Convoluted Feature Extraction for Affective Auditory P300 Brain-Computer Interfaces

#### 3.学会等名

The 39th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society(国際学会)

### 4.発表年

2018年

## 1.発表者名

Naoki Saga, Hajime Yano, Tetsuya Takiguchi, Yoshiharu Soeta, Seiji Nakagawa

#### 2 . 発表標題

Spatiotemporal Characteristics of Cortical Activities Associated with Articulation of Speech Perception

## 3.学会等名

The 39th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society(国際学会)

# 4.発表年

1 . 発表者名 Ogino R, Otsuka S, Nakagawa S,	
2 . 発表標題 Measurements of vibration in the ear canal caused by distantly presented bone-conducted ultrasound	
3.学会等名 The 8th International Symposium on InfoComm & Mechatronics Technology in Bio-Medical & Healthcare Applications (IS 3T-in-(国際学会)	3A)
4.発表年	
2018年	
1.発表者名 大塚翔,中川誠司,古川 茂人	
0 7V-1-ETIT	
2 . 発表標題 刺激音の強度に対する予期がオリープ蝸牛束反射に与える影響	
- WAM 5	
3 . 学会等名 日本音響学会2018年秋季研究発表会	
4 . 発表年	
2018年	
20107	
. Ret 4	
1.発表者名 大塚翔,中川誠司,古川 茂人	
2 PV == 1 TR FIX	
2 . 発表標題 振幅変調音に対するオリープ蝸牛束反射の応答	
2 24 4 55 4	
3 . 学会等名 日本音響学会2019年春季研究発表会	
4.発表年	
2019年	
1.発表者名 原田暢善、岡本秀郎、岩木 直、亀尾聡美、中川誠司	
2 . 発表標題 デジタルタコグラフ評価値とフリッカー値の関連に関する検討	
2	
3.学会等名 第89回 日本衛生学会学術総会	
4 . 発表年 2019年	
2010	

1.発表者名 荻野利基,大塚翔,中川誠司
2.発表標題 遠位呈示された骨導超音波基礎知覚特性および伝搬メカニズムの検討
2 24 6 77 77
3 . 学会等名 千葉大学GPシンポジウム
4.発表年
2018年
1.発表者名
Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa
2.発表標題
The infuence of placement on bone conduction transmission
3 . 学会等名 千葉大学GPシンポジウム
4.発表年
2018年
1 . 発表者名 ヤップ ゲック シエン , 大塚翔 , 湯本真人 , 中川誠司
2 . 発表標題 生理計測及び心理物理計測による 軟骨伝導の知覚特性の評価
2 24 45 57
3 . 学会等名 千葉大学GPシンポジウム
4 . 発表年
2018年
1 . 発表者名 ヤップ ゲック シエン , 大塚翔 ,湯本真人 ,中川誠司
2 . 発表標題 脳磁界計測及び心理物理計測による軟骨伝導知覚特性の客観評価
2.
3 . 学会等名 第21回日本ヒト脳機能マッピング学会大会
4.発表年 2019年

1.発表者名 中前美祐,柴玲子,Yap Gaik Sean,大塚明香,大塚翔, 湯本真人,中川誠司
2 . 発表標題 様々な調性感覚を引き起こす音列に対する誘発脳磁界の計測
3 . 学会等名 第21回日本ヒト脳機能マッピング学会大会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名
後上 正樹,吉野 寿紀,角谷 美和,飛龍 志津子,中川 誠司,添田 喜治,長谷 芳樹
2.発表標題 おおかます。 の時間にしていたによる。 だいにのまでおさらい集中点に、心理学験やよび呼び検例測学
超音波エコーの聴取トレニングによるターゲットの表面粗さ弁別精度向上 -心理実験および脳磁図測定 -
3.学会等名
日本音響学会聴覚研究会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名
大西 章也,中川 誠司
2 . 発表標題 脳波のスカラ特徴群を組み合わせた音の快・不快推定方法の検討
3 . 学会等名 日本生体医工学会 第23 回実社会におけるマルチモーダル脳情報応用技術研究会
4 . 発表年
2018年
1.発表者名
中川誠司,荻野利基,大塚翔
2.発表標題
え、光な信題 遠位呈示による骨導超音波の基礎知覚特性の検討
3 . 学会等名 第57回日本生体医工学企士企
第57回日本生体医工学会大会
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 ヤップ ゲック シエン , 大塚翔 , 湯本真人 , 中川誠司
2 . 発表標題 ミスマッチ・フィールド計測および心理物理計測による軟骨伝導知覚の時間分解能特性評価
3 . 学会等名 第33回日本生体磁気学会大会
4 . 発表年
2018年
1 . 発表者名
大西章也,中川誠司
2.発表標題
区 : 元代(京成) 脳波フラクタル次元を用いた音の快・不快指標の検討
2 244
3 . 学会等名 日本音響学会2018年秋季研究発表会
4.発表年
2018年
•
1 . 発表者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa
2 . 発表標題 Effects of bone-conducted vibrator placement on hearing threshold
2 24 4 7 7
3 . 学会等名 日本音響学会2018年秋季研究発表会
4. 発表年
2018年
1.発表者名 ヤップ ゲック シエン,大塚翔, 中川誠司
2 . 発表標題 軟骨伝導音声の明瞭度
3 . 学会等名 日本音響学会2018年秋季研究発表会
4.発表年
2018年

1.発表者名 土井公一朗,荻野利基,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 遠位呈示された骨導超音波の体内伝搬過程の検討-振幅変調音呈示時の復調特性-
3 . 学会等名 日本音響学会2018年秋季研究発表会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 荻野利基,土井公一朗,大塚翔,中川誠司
2. 発表標題 遠位呈示された骨導超音波刺激による外耳道振動の特性評価
3 . 学会等名 日本音響学会2018年秋季研究発表会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 中川誠司,大西章也,大塚翔
2 . 発表標題 心理・生理データを利用した快適な居住空間の構築
3 . 学会等名 第16回千葉大学医工学シンポジウム
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 大西章也,中川誠司
2 . 発表標題 情動音を用いたプレイン・マシン・インタフェースの取組み
3 . 学会等名 第16回千葉大学医工学シンポジウム
4.発表年 2018年

1.発表者名 荻野利基,土井公一朗,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 遠位呈示された骨導超音波の体内伝播効率の検討
3.学会等名 日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2018
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 ヤップ ゲック シエン,大塚翔, 中川誠司
2.発表標題 軟骨伝導による単音節明瞭度特性
3.学会等名 日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2018
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 実川徹,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 軟骨伝導の呈示位置における知覚特性の変化
3 . 学会等名 日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2018
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 中前美祐,柴玲子,ヤップゲックシエン,大塚明日香,大塚翔,湯本真人,中川誠司
2 . 発表標題 調性感覚を引き起こす音列によるミスマッチ反応の計測
3.学会等名 日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2018
4 . 発表年 2018年

1.発表者名 中嶋春葵,大塚翔,神谷勝,中川誠司
2 . 発表標題 空調音の主観的好ましさを決定するパラメータの検討&160;
3.学会等名 日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2018
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 長内涼,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 競合音存在下での聴取能力とワーキングメモリ容量との関係
3.学会等名 日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2018
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 土井公一朗,荻野利基,大塚翔,中川誠司
2.発表標題 遠位呈示されたAM骨導超音波の体内伝搬過程による復調特性の検討
3.学会等名 日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2018
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 良知壮太郎,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 感音性難聴者におけるオリーブ蝸牛束の機能の評価
3.学会等名 日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2018
4 . 発表年 2018年

1.発表者名 鈴木裕登,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 覚醒度の変動がオリーブ蝸牛束反射に与える影響
3 . 学会等名 日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2018
4.発表年 2018年
1.発表者名 大西章也,中川誠司
2 . 発表標題 脳波スカラ特徴群を用いた快音・不快音の識別
3 . 学会等名 日本音響学会2019年春季研究発表会
4.発表年 2019年
1 . 発表者名 Xiuyuan Qin, Sho Otsuka, Seiji Nakagawa
2 . 発表標題 Effects of bone-conducted vibrator placement on ear-canal sound pressure
3 . 学会等名 日本音響学会2019年春季研究発表会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 荻野利基,土井公一朗,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 身体表面振動の計測による遠位呈示骨導超音波の伝播特性の検討
3 . 学会等名 日本音響学会2019年春季研究発表会
4.発表年 2019年

1 . 発表者名 ヤップ ゲック シエン , 大塚翔 , 中川誠司
2.発表標題 聴覚伝音系における伝搬メカニズムを考慮した軟骨伝導の検出閾特性の推定
3 . 学会等名 日本音響学会2019年春季研究発表会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 実川徹,大塚翔,中川誠司
2 . 発表標題 耳介における呈示部位が軟骨伝導知覚に与える影響の検討
3 . 学会等名 日本音響学会2019年春季研究発表会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 中前美祐,柴玲子,ヤップゲックシエン,大塚明日香,大塚翔,湯本真人,中川誠司
2.発表標題 音階構造の異なる音列に対するミスマッチ反応の計測
3.学会等名 日本音響学会2019年春季研究発表会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 中嶋春葵,大塚翔,神谷勝,中川誠司
2.発表標題 HVAC音の主観的好ましさに寄与する音響パラメータの検討
3 . 学会等名 日本音響学会2019年春季研究発表会
4.発表年 2019年

1.発表者名 長内涼,大塚翔,中川誠司	
2.発表標題 競合音存在下での聴取能力とワーキングメモリ容量との関係	
2 24 A MT (7	
3 . 学会等名 日本音響学会2019年春季研究発表会	
4 . 発表年	
2019年	
1 改丰之夕	
1.発表者名 土井公一朗,荻野利基,大塚翔,中川誠司	
2.発表標題	
遠位呈示AM骨導超音波の体内伝搬過程による復調特性の検討	
3 . 学会等名 日本音響学会2019年春季研究発表会	
4.発表年	
2019年	
1.発表者名 良知壮太郎,大塚翔,中川誠司	
2	
2 . 発表標題 感音性難聴者におけるオリーブ蝸牛束反射の諸特性	
3.学会等名	
日本音響学会2019年春季研究発表会	
4. 発表年 2010年	
2019年	
1.発表者名 鈴木裕登,大塚翔,中川誠司	
2 . 発表標題 覚醒度とオリーブ蝸牛束反射強度との関係	
3.学会等名 日本音響学会2019年春季研究発表会	
4.発表年 2019年	

〔図書〕 計2件	
1.著者名中川誠司他	4 . 発行年 2018年
2 . 出版社 S&T出版	5.総ページ数 305
3.書名 口・鼻・耳の感覚メカニズムと応用技術	

1.著者名	4.発行年
	2020年
中川誠司 他(日本音響学会 編)	2020#
2.出版社	5.総ページ数
コロナ社	500
3.書名	
音響用語辞典(第三版)	

〔出願〕 計2件

産業財産権の名称 音響伝達方式	発明者 Seiji Nakagawa, Otsuka Sho	権利者 国立大学法人千 葉大学
産業財産権の種類、番号	出願年	国内・外国の別
特許、PCT/JP2019/001186	2018年	外国

産業財産権の名称 音響伝達方式	発明者 中川誠司,大塚翔	権利者 国立大学法人千 葉大学
産業財産権の種類、番号	出願年	国内・外国の別
特許、特願2018-019933	2018年	国内

# 〔取得〕 計0件

【その他】 干葉大学フロンティア医工学センター 中川・大塚研究室 http://www.cfme.chiba-u.jp/~nakagawa/index.html 千葉大学フロンティア医工学センター 中川・大塚研究室 Facebook page https://www.facebook.com/NakagawaLab/

# 6 . 研究組織

b	. 研究組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	大塚 翔	千葉大学・フロンティア医工学センター・特任助教	
研究分担者	(Ostuka Sho)		
	(00776049)	(12501)	
	龍宮 隆之	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所・言	
研究分担者	能由 PE之 (Kagomiya Takayuki)	語变異研究領域・特任助教	
	(10528269)	(62618)	
	湯本 真人	東京大学・医学部附属病院・講師	
研究分担者	(Yumoto Masato)		
	(30240170)	(12601)	
	(30240170) 西村 忠己	(12601) 奈良県立医科大学・医学部・講師	
研究分担者			
究 分 担	西村 忠己		
究分担者	西村 忠己 (Nishimura Tadashi)	奈良県立医科大学・医学部・講師	
究分担者	西村 忠己 (Nishimura Tadashi) (60364072)	奈良県立医科大学・医学部・講師 (24601)	
究分担者 研究	西村 忠己 (Nishimura Tadashi) (60364072) 細井 裕司 (Hosoi Hiroshi)	奈良県立医科大学・医学部・講師 (24601) 奈良県立医科大学・医学部・その他	
究分担者 研究	西村 忠己 (Nishimura Tadashi) (60364072) 細井 裕司 (Hosoi Hiroshi)	奈良県立医科大学・医学部・講師 (24601) 奈良県立医科大学・医学部・その他 (24601)	
究分担者 研究	西村 忠己 (Nishimura Tadashi) (60364072) 細井 裕司 (Hosoi Hiroshi)	奈良県立医科大学・医学部・講師 (24601) 奈良県立医科大学・医学部・その他	
究分担者 研究分担者 連	西村 忠己 (Nishimura Tadashi) (60364072) 細井 裕司 (Hosoi Hiroshi) (80094613) チン シュウエン	奈良県立医科大学・医学部・講師 (24601) 奈良県立医科大学・医学部・その他 (24601)	